



●この説明書は、必ず取付けされる方にお渡しください。

■取付けされる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲警告 …取付けを誤った場合に、使用者などが死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲警告

●下記のような医用電子機器を使用されている方は、操作を行わないでください。
各医用電子機器に誤作動をまねくおそれがあります。

(1)ペースメーカー等の体内埋込型機器 (2)人工心肺等の生命維持用機器 (3)装着型の心電計等

▲注意

●吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引張って抜けないことを確認してください。押し込みが足りないと本体が脱落するおそれがあります。

■取付け上のおお願い

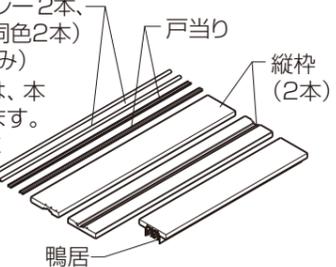
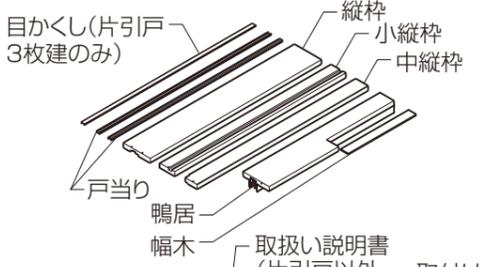
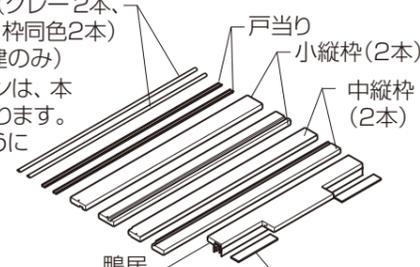
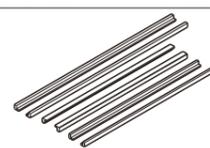
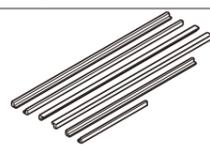
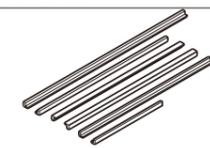
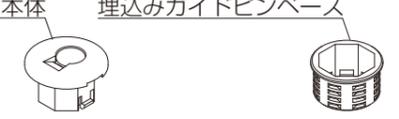
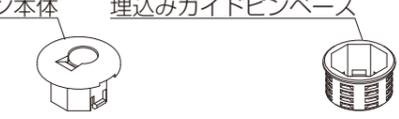
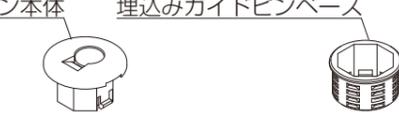
- 枠取付けの際は、水準器・下げ振りなどで水平・垂直を確認してください。
- 造作材・建具枠を取付ける時は、必ず接着剤(現場手配)を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤(現場手配)を塗布してください。
- 現場で使う接着剤は、「F☆☆☆☆」又はノンホルムタイプを使用してください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれたりする場合があります。
- 各部材のガイド穴にゴミが入らないようにしてください。
- 本製品の組立て・取付け時には、同梱の指定ねじを使用してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や、枠の垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 組立てねじは、縦枠とねじ頭が面一になるまで締め込んでください。但し、叩き込まないようにして下さい。保持力低下の原因となります。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから取付けしてください。
- 造作材・建具枠と柱・間柱・まぐさの間には必ずすき間をつくり、かい木を入れてください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。
- 埋込みガイドピン仕様の場合、クッションフロアや弾性がある床には取り付けしないでください。部品が浮いて開閉に支障をきたす原因になります。
- 造作材・建具枠の下地材及び、かい木には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 枠の組立て後、揺らす・ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損する原因になります。
- 枠は倒れ、傾き、たいこ、つぶみ、ねじれがないように取付けてください。片引枠の場合は、中縦枠の施工にご注意ください。吊込み後、本体とのすき間・干渉の原因になります。
- 納品時に各部材・部品を検品してください。万一製品に不具合があった場合は、必ず取付け前にお買い求め店までご連絡ください。(施工後の色調・不具合・キズなどによる交換はできません。)
- 本体は落下させたり、立てかける時に衝撃を与えないでください。本体部品が損傷し、開閉に支障をきたす原因になります。
- 片引き・引分けの建具引込み部の半壁は、枠を開口部に取付けてから取付けしてください。
- 梁又はまぐさが軽量鉄骨の場合は、ねじ保持力が弱いため直接固定しないでください。必ず枠と軽量鉄骨の間に木枠を入れて取付けしてください。
- 鴨居取付けねじの締めすぎにご注意ください。上レールを変形させると本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。
- 取付け時の建具養生などは、ダンボール、ミラーマットなどを使用し、粘着力の強いテープ(ガムテープ、養生テープなど)を長い時間建具表面に直貼りしないでください。テープを剥がす際、表面シートを傷めたり、またテープそのものの粘着剤が表面に付着したまま残ることがあります。
- ガイドピンは、「■ガイドピンの取付け」通りに正確な位置に取付けてください。本体の開閉操作に支障がでる原因になります。
- 本製品は上吊り方式を採用しています。梁(まぐさ)は、強度を要するため、断面寸法105×180mm以上を使用してください。上枠およびレールの垂れ下がりの原因になります。
- 枠組立て前に鴨居のレールに吊車を挿入してください。吊車の入れ方を間違えると本体の吊込みおよび、建付け調整ができません。
- 枠は取付け前に開梱した状態で現場に置かないようにしてください。現場の粉塵がソフトモーション部品に混入し、作動不良の原因となります。ソフトモーション部品に潤滑剤などを塗布しないでください。作動不良の原因になります。
- 運搬・加工の際は、ねじったりキズ付かないように取扱ってください。本体がねじれた場合、開閉に支障をきたす原因になります。
- フラット下レールを固定する床(下地)は、段差やすき間がないように仕上げしてからレールを固定してください。フラット下レールや埋込敷居を取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。フラット下レール/埋込敷居が変形し、本体開閉不具合の原因となります。

■本体保管上のおお願い

- 本体のソリ・ねじれ防止のため、下記場所に置いたり、保管しないでください。
・直射日光の当たる場所 ・昼夜などで温度差の激しい場所 ・湿気の多い場所
 - 本体を長期間保管する場合は、寝かせた状態で保管してください。立て置きでの保管はソリ・ねじれなどの原因になります。
- ※建築工事中は、本体を養生・保全のため取外しておき、取付け完了後に吊込むことをおすすめします。

■部品・部材の明細

※枠はロックダウン、本体は完成品です。引手なしデザイン本体には引手はありません。

引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建用本体	片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建用本体	引分け戸用本体
 <p>1枚梱包×2／引違い戸2枚建用 1枚梱包×3／引違い戸3枚建用 1枚梱包×4／引違い戸4枚建用</p>	 <p>1枚梱包×1／片引戸用 1枚梱包×2／片引戸2枚建用 1枚梱包×3／片引戸3枚建用</p>	 <p>1枚梱包×2／引分け戸用</p>
引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建用枠	片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建用枠	引分け戸用本体枠
<p>召合せパッキン(グレー2本、 枠同色2本) 戸当り 縦枠(2本) (引違い戸4枚建のみ) ※召合せパッキンは、本 体取付けになります。 なくさないように してください。</p>  <p>部品セット 取扱い説明書 (引違い2枚建 以外に同梱) 取付け 説明書</p>	<p>目かくし(片引戸 3枚建のみ) 縦枠 小縦枠 中縦枠 戸当り 鴨居 幅木 取扱い説明書 (片引戸以外 に同梱) 取付け 説明書</p>  <p>部品セット 取扱い説明書 (片引戸以外 に同梱) 取付け 説明書</p>	<p>召合せパッキン(グレー2本、 枠同色2本) 戸当り 小縦枠(2本) 中縦枠 (2本) (引違い戸4枚建のみ) ※召合せパッキンは、本 体取付けになります。 なくさないように してください。</p>  <p>部品セット 取扱い説明書 取付け 説明書</p>
ケーシングセット(ケーシング付タイプのみ)	ケーシングセット(ケーシング付タイプのみ)	ケーシングセット(ケーシング付タイプのみ)
		
埋込みガイドピンセット	埋込みガイドピンセット	埋込みガイドピンセット
		

■枠セット明細

部材名称		片引戸	片引戸2枚建	片引戸3枚建	引違い戸2枚建	引違い戸3枚建	引違い戸4枚建	引分け戸
枠	鴨居	1	1	1	1	1	1	1
	縦枠	1	1	1	2	2	2	—
	中縦枠	1	1	1	—	—	—	2
	小縦枠	1	1	1	—	—	—	2
	幅木	1	1	1	—	—	—	2
	戸当り	2	3	4	4	6	4	2
	目かくし	—	—	1	—	—	—	—
	召合せパッキン	—	—	—	—	—	4※	4※
部品セット	1	1	1	1	1	1	1	

※召し合わせパッキンはアルミ本体用2本(グレー)、木建本体用2本の合計4本が同梱されています。本体タイプにより選定の上、取付けてください。

■埋込みガイドピンセット明細

部品名称	片引戸	片引戸2枚建	片引戸3枚建	引違い戸2枚建	引違い戸3枚建	引違い戸4枚建	引分け戸
8個入セット	-	-	-	-	-	-	1
10個入セット	-	1	-	-	-	-	-
16個入セット	-	-	-	-	-	1	-
18個入セット	-	-	1	-	1	-	-

■フラット下レール部品セット

	片引戸	片引戸2枚建	片引戸3枚建	引違い戸 2枚建	引違い戸 3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸
フラット下レール取付け用頭塗装皿タッピンねじφ4×18	14本	18本	24本	14本	18本	24本	24本
フラット下レール1本引き用端部ピース	2個	1個	1個	—	—	—	2個
フラット下レール2本引き用端部ピース	—	1個	—	2個	—	2個	—
フラット下レール3本引き用端部ピース	—	—	1個	—	2個	—	—

■埋込敷居用部品セット

	片引戸	片引戸2枚建	片引戸3枚建	引違い戸2枚建 引違い戸3枚建	引違い戸 4枚建	引分け戸
敷居取付け用なべタッピンねじφ4×30	5本	6本	8本	6本	9本	9本
縦枠下部ピース	—	1個	2個	—	—	—
縦枠下部ピース取付け用皿タッピンねじφ4×20	—	1本	2本	—	—	—

■部品セット明細 (枠同梱品)

□片引き部品セット

部材名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	6
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	6
吊車A	2
吊車B	—
固定ガイドピン(取付け用皿タッピンねじφ3.5×20:2本同梱)	1

□引違い部品セット

部材名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	8
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	6
吊車A	4
吊車B	—
固定ガイドピン(取付け用皿タッピンねじφ3.5×20:2本同梱)	2

□引き分け部品セット

部材名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	10
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	6
吊車(Aタイプ)	4
吊車(Bタイプ)	—

□片引き2枚建部品セット

部材名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	8
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	6
吊車A	2
吊車B	2

□引違い3枚建部品セット

部材名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	11
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	6
吊車A	—
吊車B	6

□片引き3枚建部品セット

部材名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	14
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	6
吊車A	2
吊車B	4

□引違い4枚建部品セット

部材名称	入数
組立て用皿小ねじM4×50	4
鴨居取付け用トラスタッピンねじφ4×50	10
縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50	6
吊車A	8
吊車B	—

■開口部の作り方

■対応壁厚

ノンケーシングタイプ	種類	対応壁厚
NC156	片引戸・引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建・引分け戸	116~130
NC171	片引戸・引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建・引分け戸	131~145
NC180	片引戸・片引戸2枚建・引違い戸2枚建・引違い戸3枚建・引違い戸4枚建・引分け戸	146~160
NC210	片引戸3枚建	170~190

ケーシング付タイプ	種類	対応壁厚
薄壁用	片引戸・引違い戸2枚建・引違い戸4枚建・引分け戸	111~141
厚壁用	片引戸・引違い戸2枚建・引違い戸4枚建・引分け戸	142~182
	片引戸2枚建・引違い戸3枚建	146~188
	片引戸3枚建	186~216

■壁厚の違いによる枠とケーシングの組合せ (単位:mm)

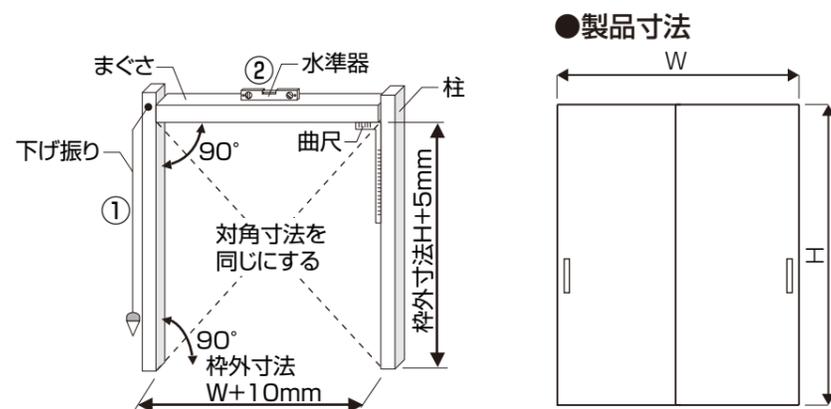
	ケーシング (足寸法)	対応壁厚
薄壁用	8	111~121
	14	122~133
	19	134~141
厚壁用	8	142~148
	14	149~160
	19	161~170
	25	171~182

■開口部寸法の出し方

※開口部の水平・垂直を正しく出してください。

※本製品は上吊方式を採用しています。梁(まぐさ)は、強度を要するため、NC115の場合は断面寸法50×180(mm)。

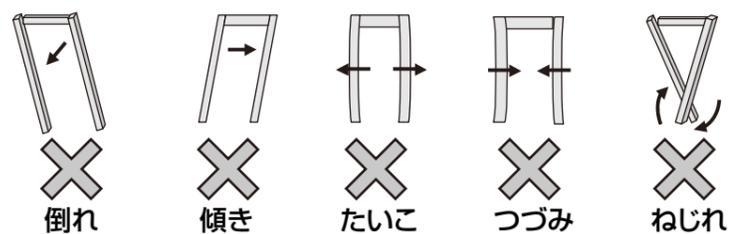
NC115以外の場合は105×180(mm)以上を使用してください。鴨居の垂下がりの原因になります。



●製品寸法

- ①下げ振りを使って、柱が垂直になるように取付けてください。
- ②水準器・曲尺を使って、まぐさが柱と垂直で、水平になるように取付けてください。

※柱、床、まぐさの水平・垂直がでていないと、枠が下図のようになり、不具合現象につながります。

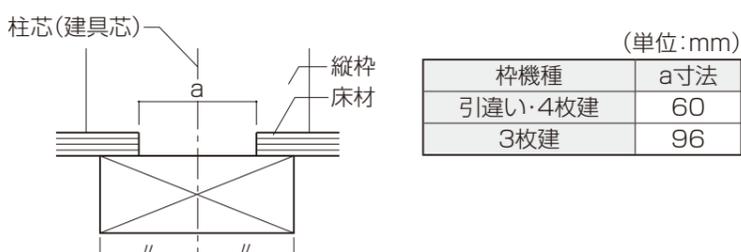


■床の張り方

〔埋込敷居の場合〕

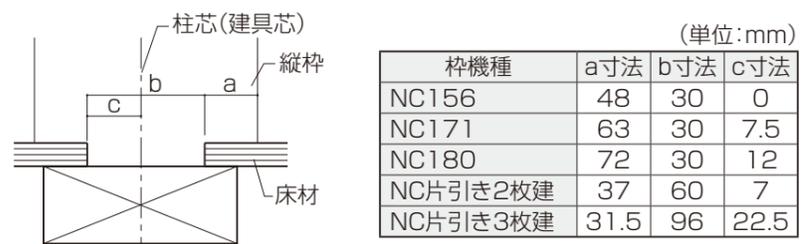
●引違い・3・4枚建

※床材は、柱芯(建具芯)を中心にa寸法あけて張ってください。



●片引き・引分け

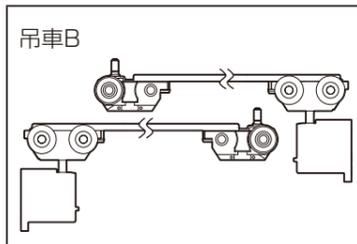
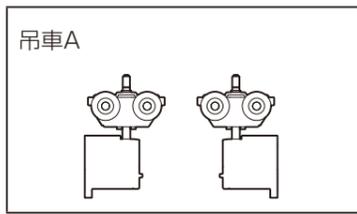
※床材は、柱芯(建具芯)より引込み側にb寸法あけて張ってください。柱芯と建具芯が合っていない場合は、縦枠端部よりa寸法内側に入った所にb寸法あけて張ってください。



※固定ガイドピン・埋込みガイドピン・フラット下レールを使用する場合、床乗せの仕様になるため、床の開口をつくる必要はありません。

■取付け順序

1 枠の組立て

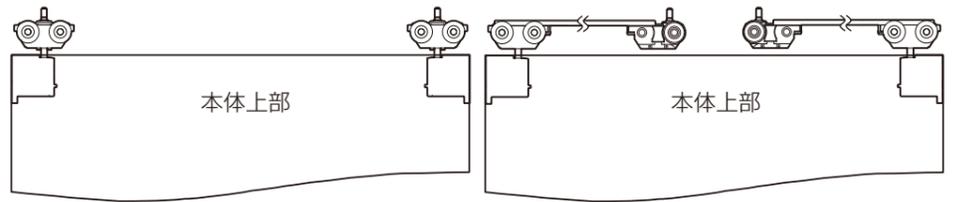


■取付け詳細

1 枠の組立て

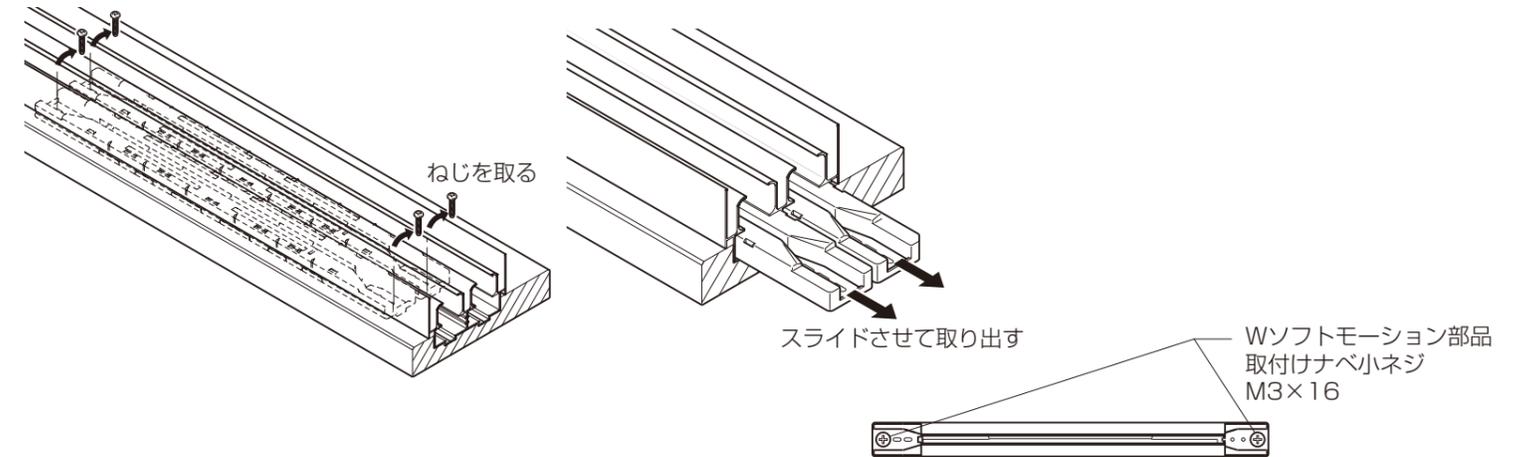
1 吊車の取付け

- 吊車AはA同士、BはB同士、それぞれ2個セットで各本体に使用します。使いわけを間違えると、Wソフトモーションがうまく作動しません。
- ※なお、Wソフトモーション部品に左右の向きはありません。



■Wソフトモーション部品の取外し

- ①Wソフトモーション部品の取付けねじ（各2本）を外し、横にスライドさせてレール端部より取出してください。
 ※引違い3枚建、引違い4枚建については、ロットNo. ラベル側のWソフトモーション部品を取外してください。
 ※C部以外のWソフトモーション部品を外す場合、レールと鴨居を固定しているねじが邪魔になる場合があります。その場合は、固定ねじを外してから、Wソフトモーション部品を取外してください。

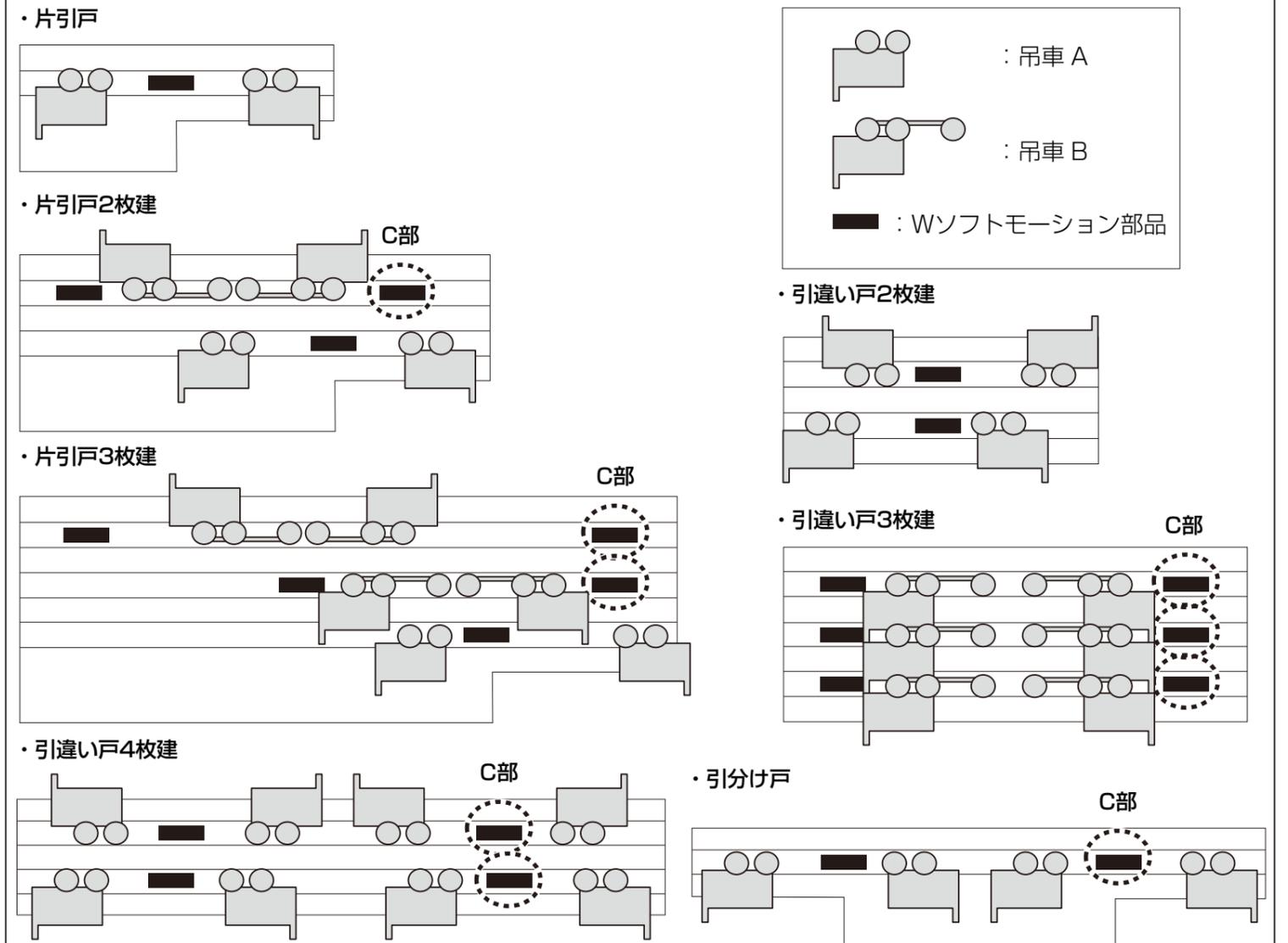


- ② Wソフトモーション部品を外した側から、吊車の使いわけ図（4/16参照）の向きで吊車を挿入してください。

お願い
 ※吊車には左右があります。必ず吊車の使いわけ図の向きで挿入してください。

- ③外したWソフトモーション部品を元の位置に再度取付けてください。
 ※Wソフトモーション部品に左右はありません。
- ④組立て中に吊車が動かないように、マスキングテープなど（現場手配）で仮固定してください。

■吊車の使いわけ図 ※説明の都合上、一部吊車のイラストを上下反転させています。

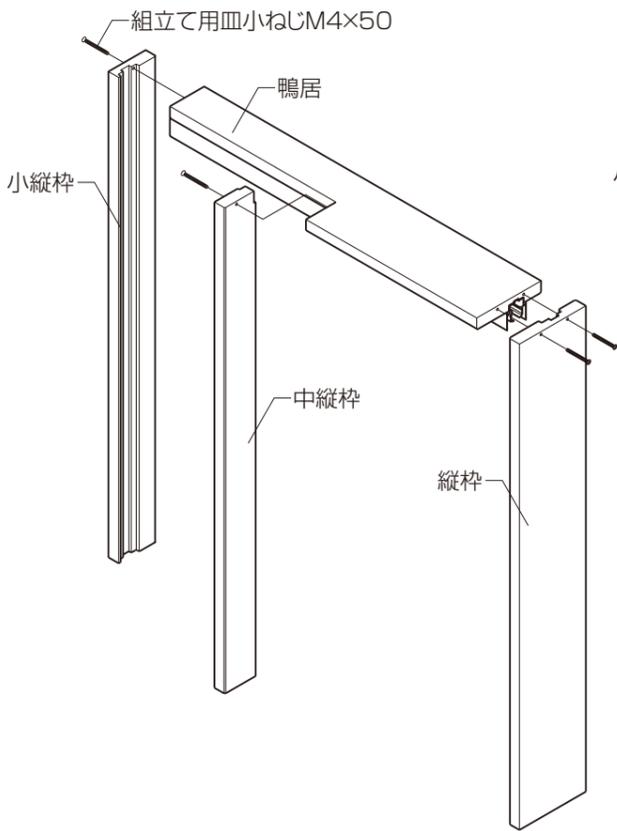


- 片引戸2枚建、片引戸3枚建、引違い3枚建、引違い4枚建、引分け戸は吊車挿入前にC部のWソフトモーション部品を取外してください。（取外し手順は4/16参照）

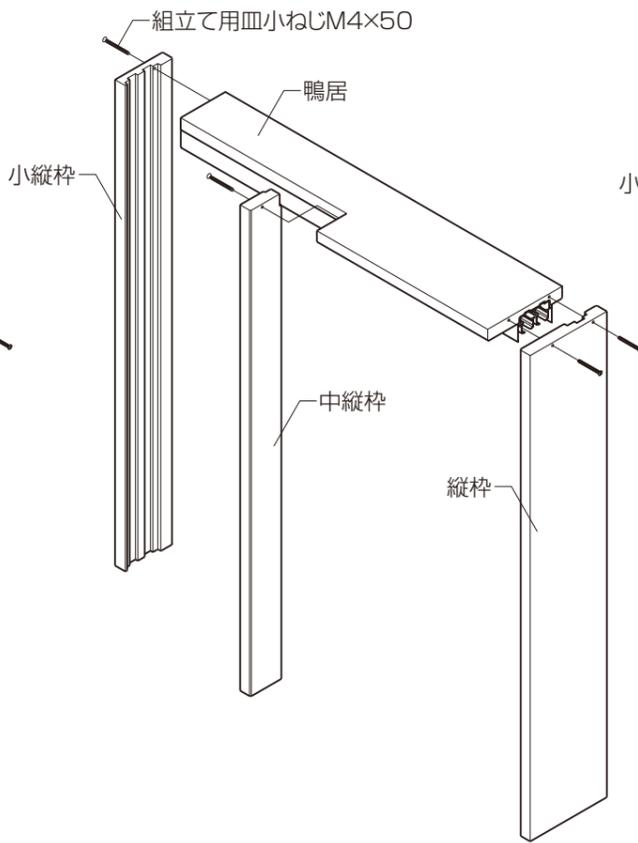
2 縦枠の取付け

● 下図のように、各部材を組合せ、同梱のねじ（皿小ねじM4×50）で固定します。

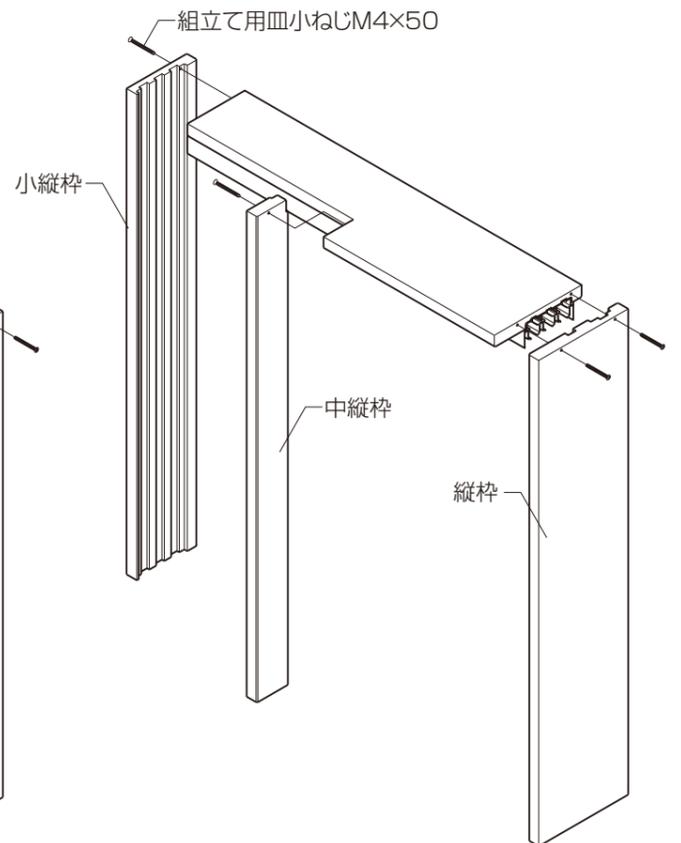
■片引戸



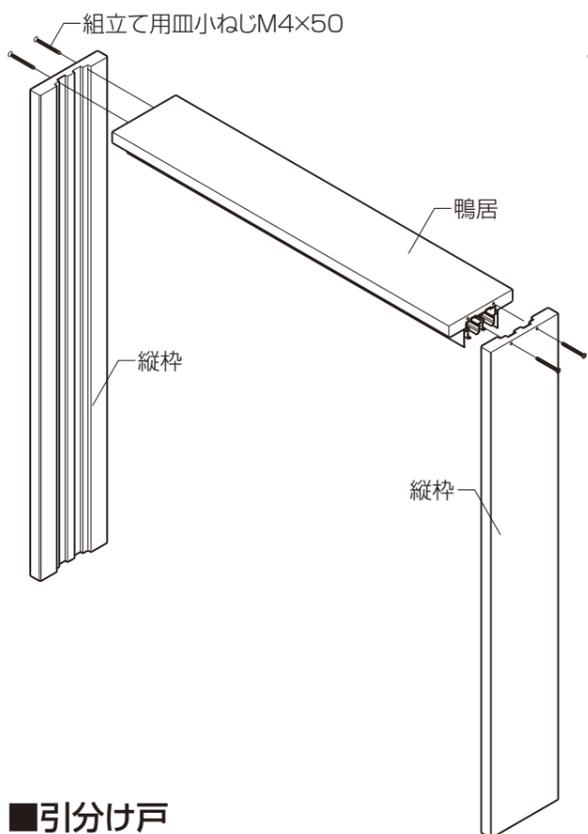
■片引戸2枚建



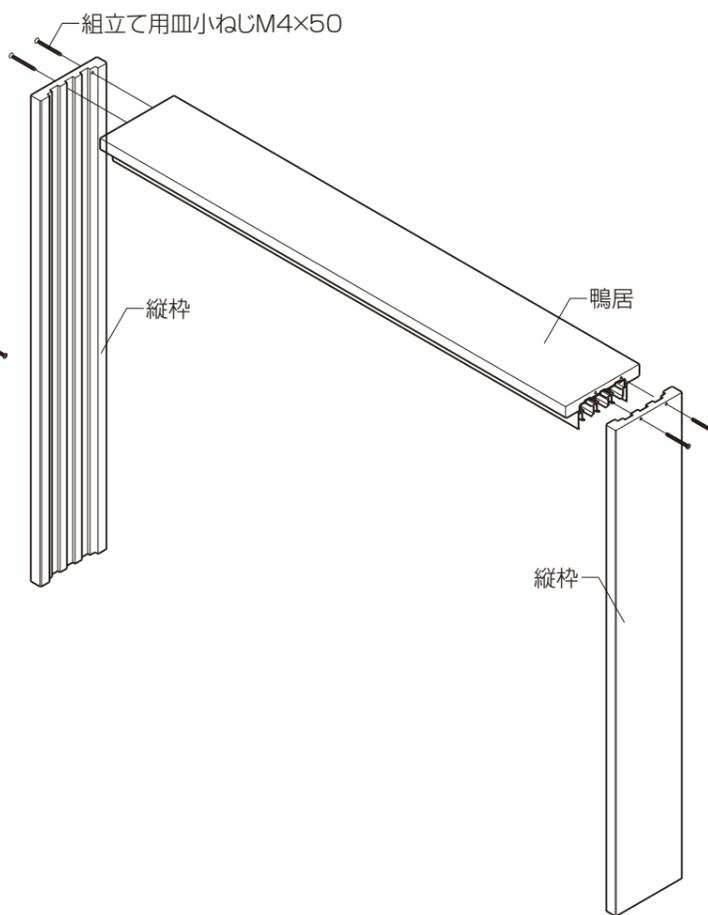
■片引戸3枚建



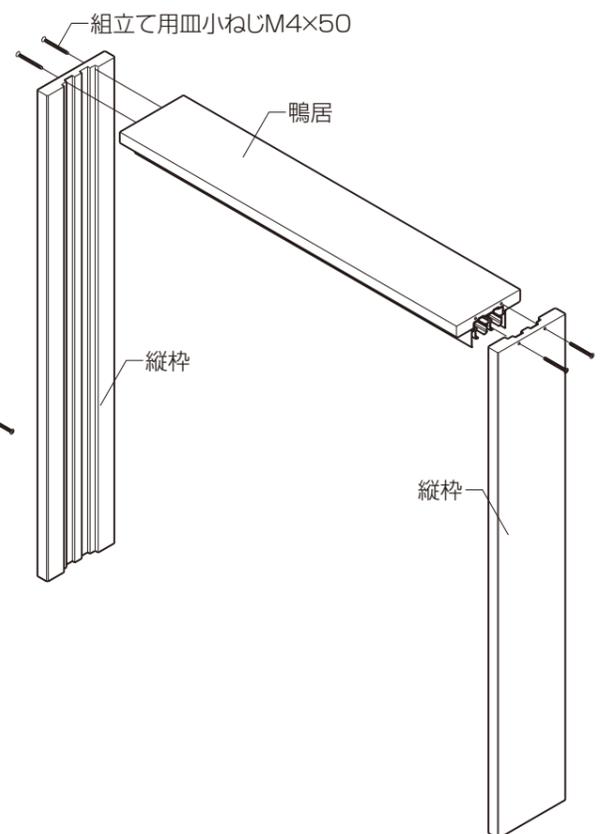
■引違い戸2枚建



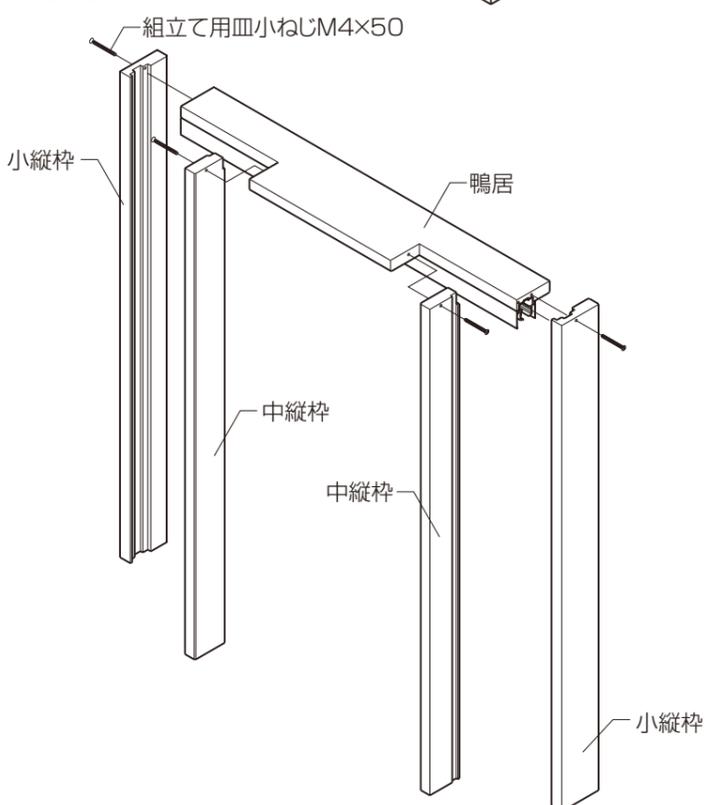
■引違い戸3枚建



■引違い戸4枚建



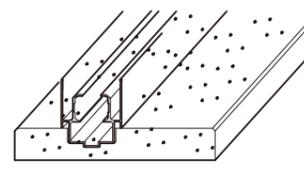
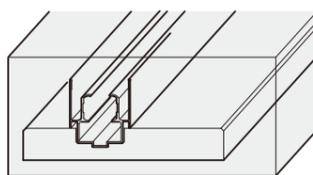
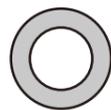
■引分け戸



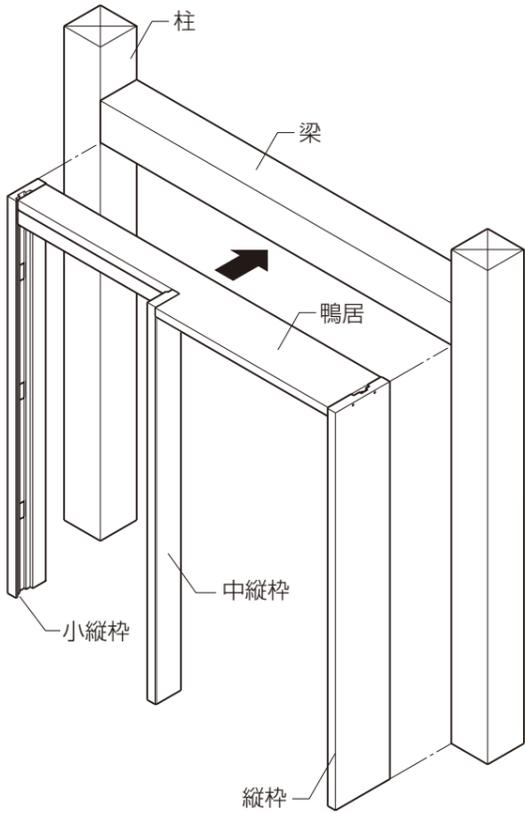
お願い

※ 枠組立て前に鴨居のレールに吊車を挿入してください。吊車の入れ方を間違えると本体の吊込みおよび、建付け調整ができません。

※ 枠は取付け前に開梱した状態で現場に置かないようにしてください。現場の粉塵がWソフトモーション部品に混入し、作動不具合の原因となります。



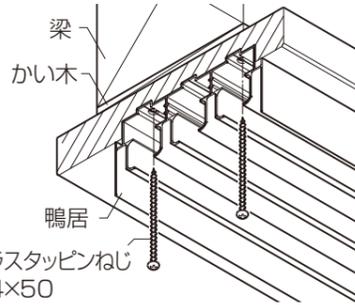
2 枠の取付け



2 枠の取付け

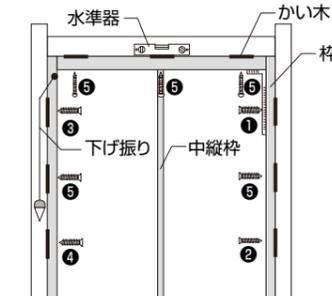
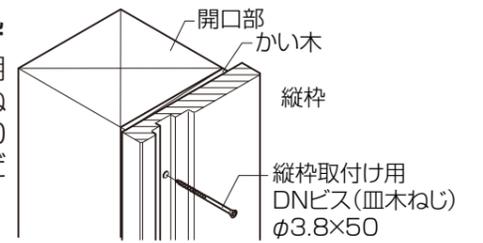
●鴨居

※鴨居はトラスタップピンねじφ4×50で固定してください。



●縦枠・小縦枠

※縦枠取付け用DNビス(皿木ねじ)φ3.8×50で固定してください。

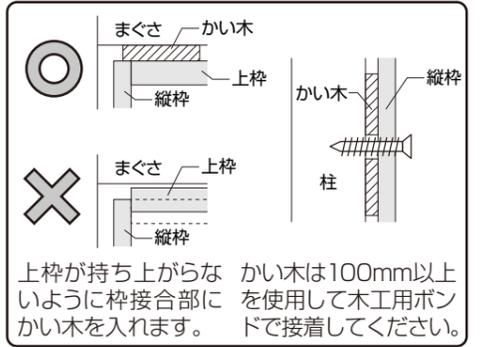


※中縦枠が曲がらないように注意してください。
※中縦枠の固定方法は次ページを参照してください。

- ①枠を開口部にはめこんで、上枠の水平を確認してから、縦枠の①を仮固定してください。
- ②下げ振りを使って垂直・倒れないことを確認してから、縦枠の②を仮固定してください。
- ③水準器で上枠の水平を確認してから縦枠の③を仮固定してください。
- ④下げ振りを使って垂直・倒れないことを確認してから、縦枠の④を仮固定してください。
- ⑤枠の水平・垂直を再度確認して、上下、左右のすき間をかい木で調整後、残りのねじで本固定してください。

※枠に水糸を張る等して枠が曲がっていないことを必ず確認してください。

※縦枠の固定箇所を増やしたい場合は、現場手配の木ねじで躯体に固定してください。

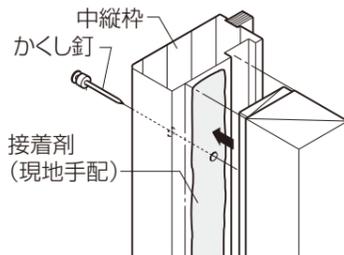


上枠が持ち上がらないように枠接合部に
かい木は100mm以上
を使用して木工用ボンドで
接着してください。

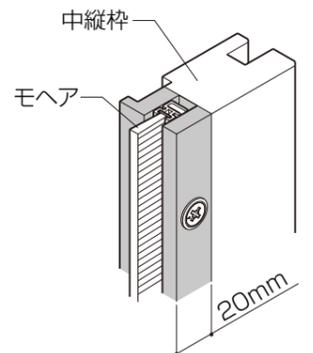
お願い
※枠の倒れ、傾き、たいこ、つづみ、ねじれがないように取付けてください。

■中縦枠

※裏面に接着剤(現地手配)を塗布し、専用のかくし釘で固定します。



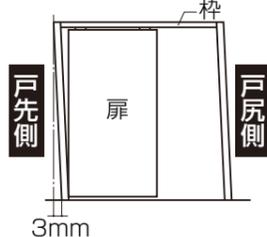
中縦枠を固定する際釘やタッカーをモヘア側から表裏20mmの斜線部には打たないでください。
中縦枠にはモヘアを調整する機能が付いているため部品が破損し調整出来なくなります。



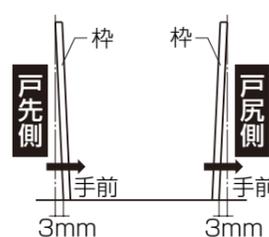
■取付け精度の許容範囲

※横方向の倒れ・奥行き方向のねじれが3mmをこえる場合、枠のタイコ・ツツミが両端・中央で+1、-2mmを超える場合は取付け修正を行ってください。
(引戸が吊込めない・Wソフトモーション機構の作動不具合・ガイドピンの外れの原因となります。)

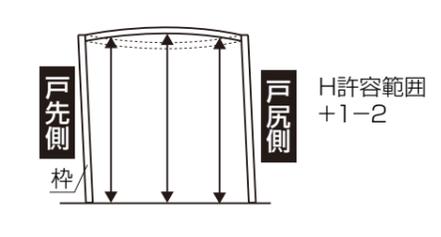
●横方向の倒れ



●奥行き方向のねじれ



●枠のタイコ・ツツミ



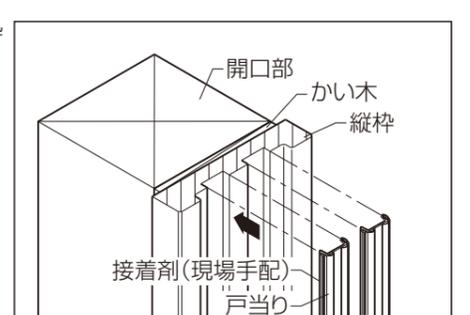
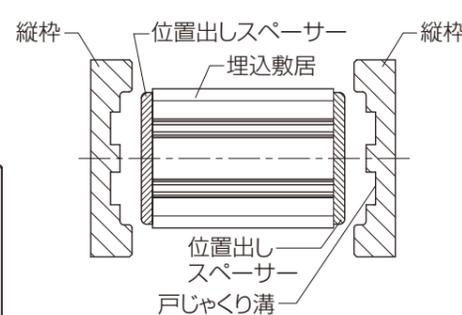
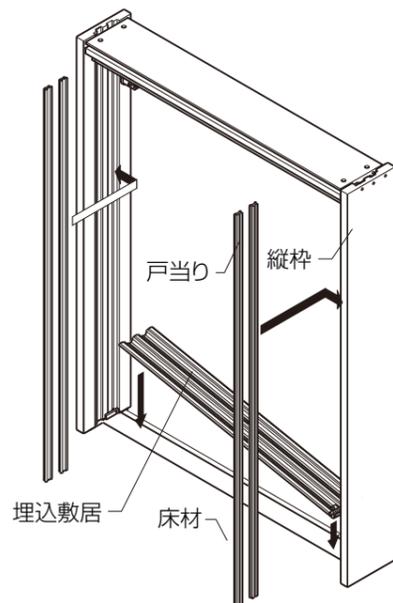
■埋込敷居、フラットレールの取付け

〔埋込敷居の取付け〕

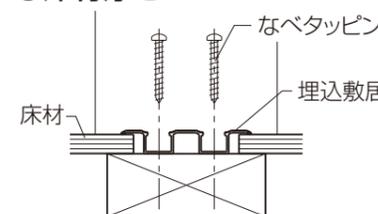
●引違い枠

(3・4枚建枠は引違い枠に準じる)

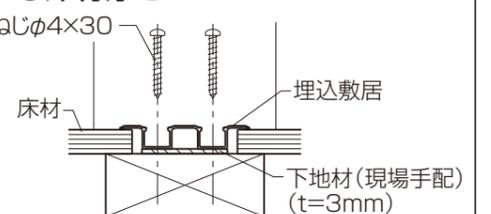
- ①埋込敷居に付いている位置出しスペーサーを、縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。
 - ②同梱のねじで固定します。
 - ③戸当りに接着剤(現地手配)で溝をふさぎます。
- ※戸当りは必ず、敷居取付け後に取付けてください。
※戸当りが長い場合は無理に入れずに必要量を切詰めてください。



●床材厚さ12mm

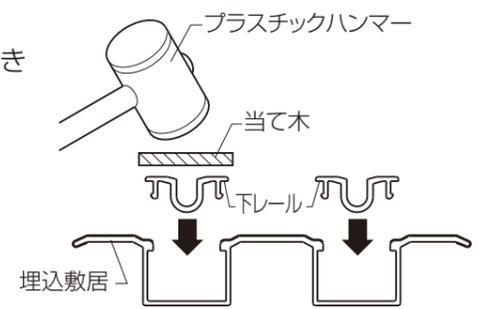


●床材厚さ15mm



■埋込敷居の場合

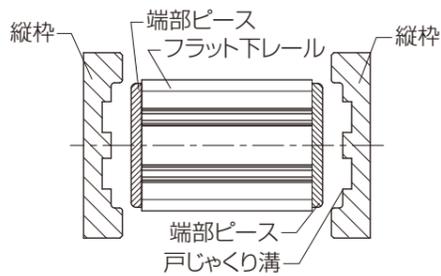
- 敷居の溝に下レールをプラスチックハンマーなどでたたき込んで固定します。



〔フラット下レールの取付け〕

①端部ピースの取付け

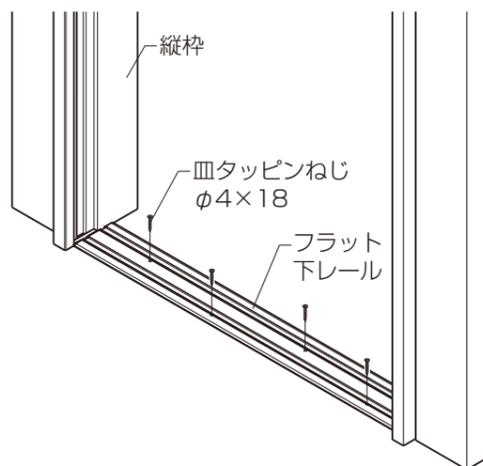
- ※フラット下レールに同梱されている端部ピースを縦枠戸じゃくり溝側にはめ込みます。



②縦枠に合わせて仮置きしてください。

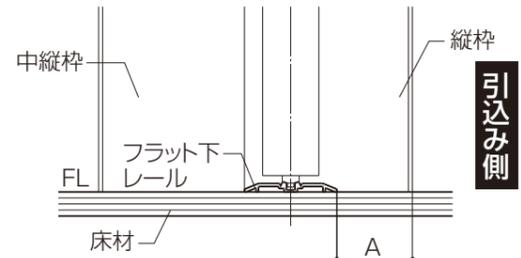
枠種類	A
NC156(片引戸・引分け戸)	37.5
NC171(片引戸・引分け戸)	52.5
NC180(片引戸・引分け戸)	61.5
NC180(片引戸2枚建)	26.5
NC210(片引戸3枚建)	21.5

③フラット下レールをねじ(皿タッピンねじφ4×18)で固定します。



●片引き枠

- ※引込み側にA寸法あけて仮置きしてください。



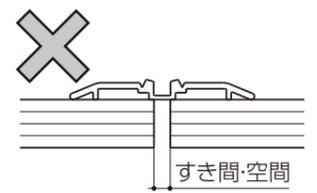
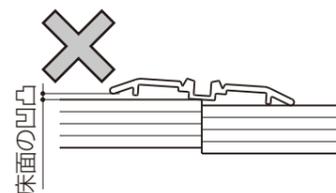
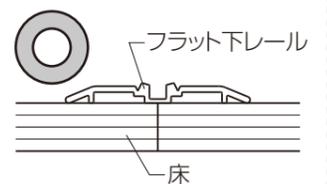
- ※中縦枠部は〔埋込敷居の取付け〕を参照してください。

●引違い枠

- ※はめ込んだ端部ピースを縦枠の戸じゃくり溝に合わせます。

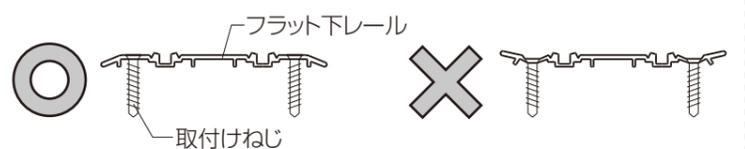
お願い

- ※フラット下レールを固定する床(下地)は段差やすき間がないように仕上げしてからレールを固定してください。



お願い

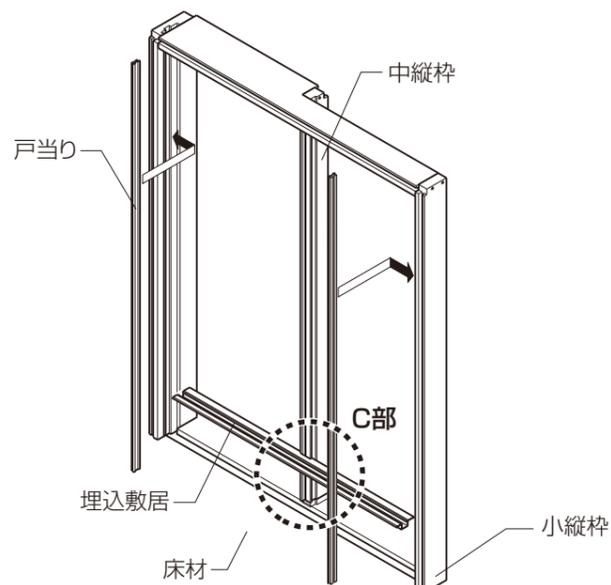
- ※フラット下レールを取付けるねじは、締めすぎないようにしてください。フラット下レールが変形し、本体開閉不具合の原因となります。



●片引き枠

(引分け・片引き2・3枚建は片引き枠に準じる)

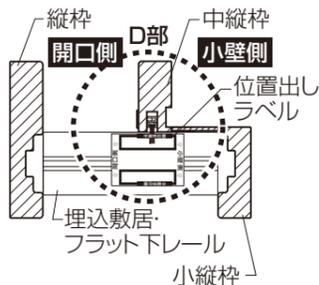
- ①下記の通りに中縦枠の位置出しを行ってください。
- ※以下は引違い枠を参照してください。



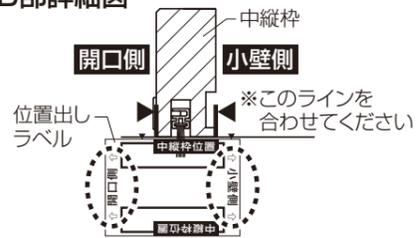
■C部詳細

●片引戸・片引戸2枚建・片引戸3枚建・引分戸の場合、中縦枠の位置出しは、フラット下レールおよび埋込敷居の位置出しラベルに合わせて取付けてください。

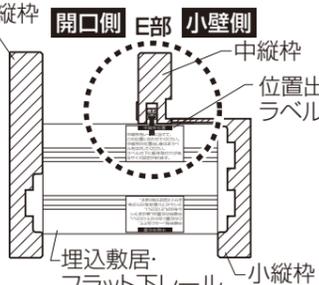
①片引戸(フラット下レール、埋込敷居)
 ※片引戸のフラット下レールおよび埋込敷居は左右勝手兼用ですが、中縦枠位置出しのため向きがあります。必ずラベルの「小壁側」「開口側」を確認してください。



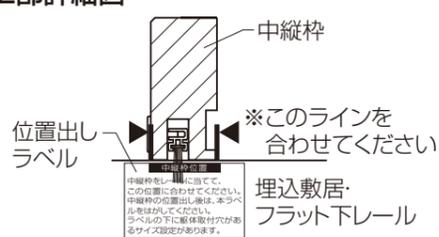
■D部詳細図



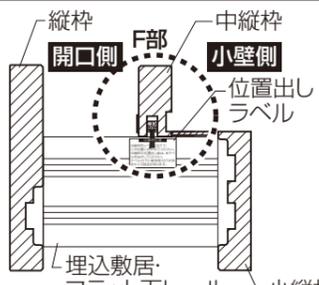
②片引戸2枚建・片引戸3枚建・引分け戸(フラット下レール)
 ※片引戸2枚建・3枚建のフラット下レールは左右勝手兼用ですが、中縦枠位置出しのため向きがあります。ラベルが貼ってある方が小壁側になるように取付けてください。



■E部詳細図



③片引戸2枚建・片引戸3枚建・引分け戸(埋込敷居)

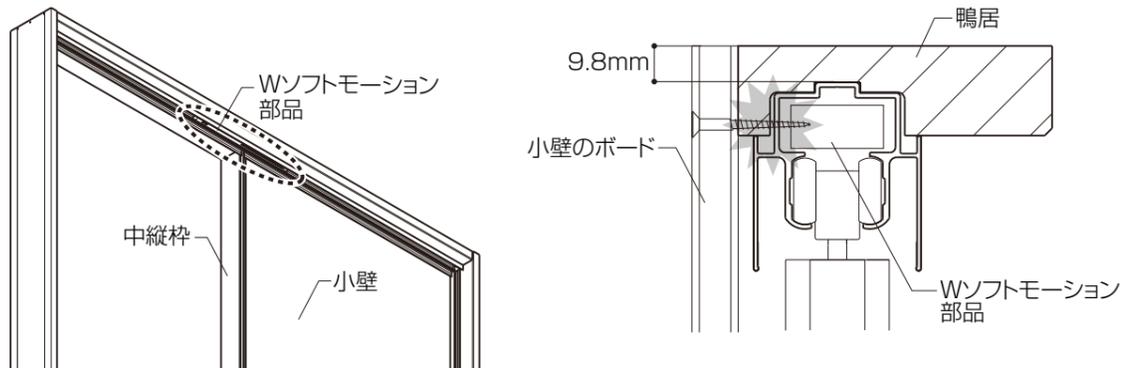


■F部詳細図



お願い

※片引きの建具引込み部の小壁は、枠を開口部に取り付けてから施工してください。小壁のボードを取付ける際、取付ビスが鴨居と鴨居レールを貫通しないように注意してください。中縦枠をまぐ位置にWソフトモーション部品があるため、部品が破損し、作動不具合の原因となります。



※必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は必ずかき木を入れてください。
 ※鴨居の躯体固定ねじを締めすぎると、本体の動きが悪くなる場合があります。本体吊込み時に動きが悪い場合は、ねじをゆるめてください。

■ガイドピンの取付け

【ガイドピンの取付け】

ガイドピンの場合

●ガイドピンを枠に同梱のねじ(皿タッピンねじφ3.5×20)で床材に固定します。
 ※機種により取付け位置が異なります。必ず下記の説明をお読みください。
 ※本体の開閉操作に影響が出ますので、A部詳細図にしたがって取付けてください。

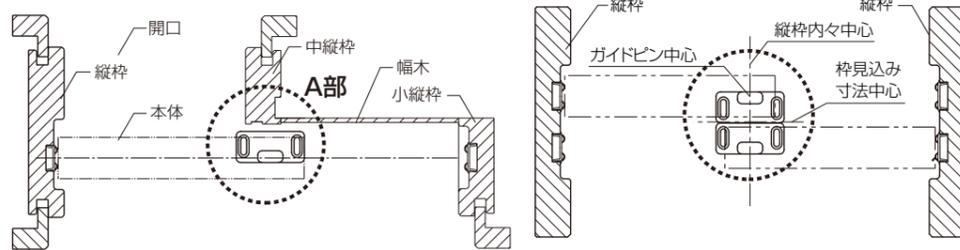
①片引き〔標準・幅狭〕の場合

●図の位置および向きにガイドピンを置き、ガイドピンの長穴(2カ所)の凸印(ライン)の位置にねじ止めしてください。

※図は、左勝手を示します。右勝手の場合は、図と左右対称の位置となります。

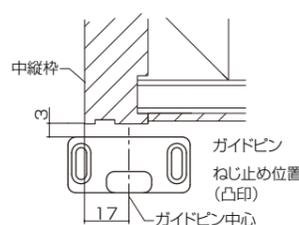
②引違いの場合

●図の位置および向きにガイドピンを置き、ガイドピンの長穴(2カ所)の凸印(ライン)の位置にねじ止めしてください。



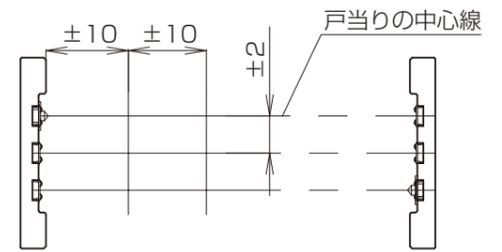
■A部詳細図

●標準・幅狭の場合

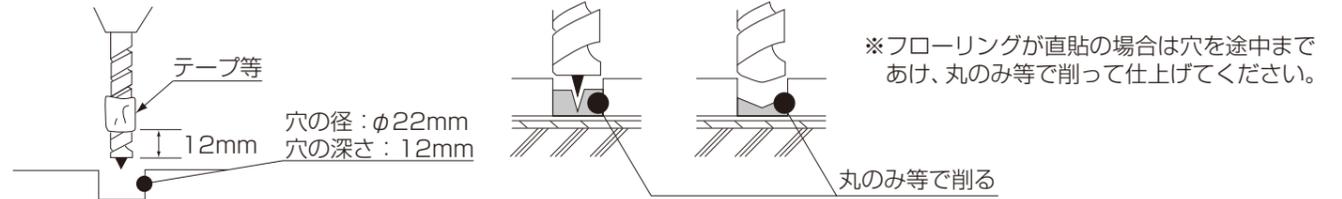


埋め込みガイドピンの場合

- ①参考納まり図のガイドピン配置図(13～16ページ)を参照し、ガイドピンの位置出しをしてください。
 ※位置のズレは開閉方向で±10mm以下、本体の面方向で±2mm以下で位置出しをしてください。
 ※ずれが大きい場合、開閉時に本体がピンからはずれる場合があります。



- ②ガイドピンの位置にドリル(φ22)で穴を開けてください。
 ※ドリルの穴の深さの位置にテープを巻き目印とすると確実に12mm深さの穴をあけることができます。
 ※穴の深さが不足していると埋め込みガイドピンベースが最後まで入らず走行性が悪くなります。
 ※穴をあけた後、バリ、切粉を取り除いてください。
 ※穴をあける際は床に対してドリルを垂直にしてください。本体開閉時の走行性が悪くなるおそれがあります。

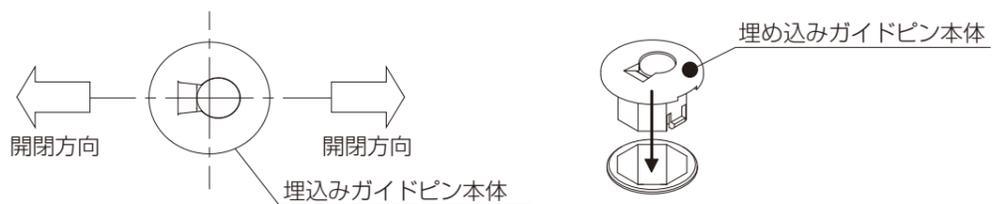


- ③埋め込みガイドピンベースを部品のつば部の溝が本体の走行方向に並行、または垂直になるように穴にはめ込んでください。

※直接部品をたたかず、あて木等を使用してください。床にキズがついたり部品が破損するおそれがあります。
 ※確実に埋め込みガイドピンベースがはまっていることを確認してください。



- ④埋め込みガイドピンベースにガイドピン本体を図のようにカチッと音がするまで押し込んでください。
 ※本体の吊り込み後にピンの位置調整をします。本体吊り込み後に、ガイドピン本体を取り付ける場合は紛失に注意してください。

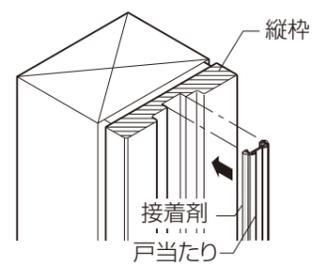


3 戸当りの取付け

3 戸当りの取付け

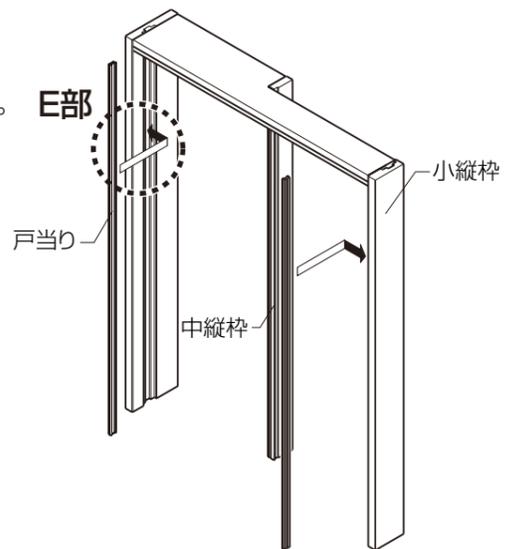
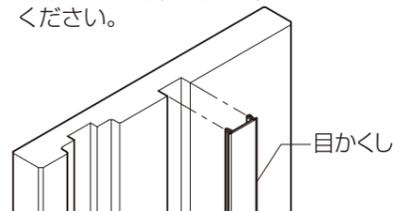
- 戸当りに接着剤(現場手配)をつけて縦枠に取付けます。
- ※戸当りが長い場合は、無理に入れずに必要量を切詰めてください。
- ※戸先の振れ止めが付いている場合の切断の目安は43mmです。
- ※戸当りの接着は必ず枠の建付け完了後に行ってください。

■E部詳細図



■片引戸3枚建のみ

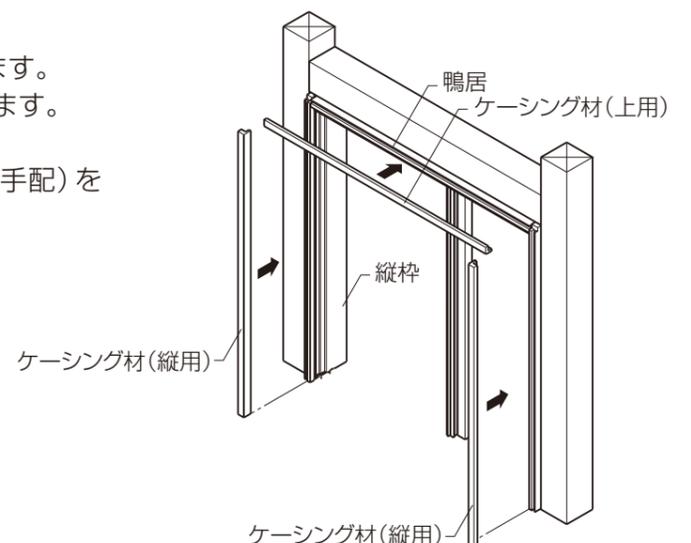
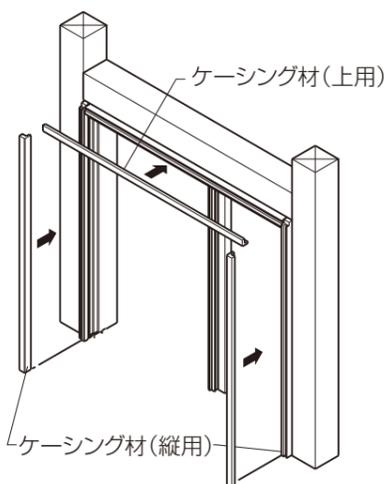
- 縦枠中央の溝に目かくしを戸当りと同様に接着剤(現場手配)で取付けてください。



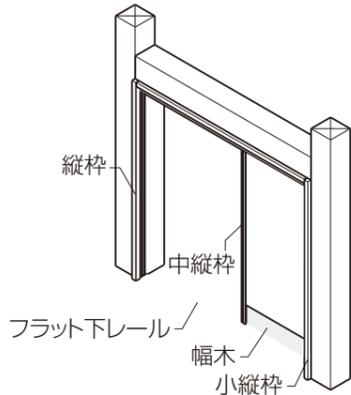
4 ケーシング材の取付け

4 ケーシング材の取付け

- ※壁材・床材を仕上げた後、ケーシング材を取付けます。
- ①別梱のケーシング材を現場寸法に合わせて切断します。
 - ②枠のケーシング溝へケーシング材を差込みます。
 - ③ケーシング溝とケーシング材裏面に接着剤(現地手配)を塗布し、ケーシングを固定します。



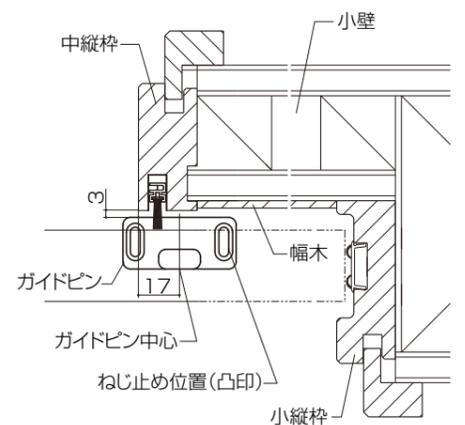
5 幅木の取付け



6 本体下部の取付け

5 幅木の取付け

※小壁のボードと床材を見切るために幅木が同梱されています。幅木部材の裏面にまんべんなく接着剤（現場手配）を塗布し、専用のかくし釘で固定します。かくし釘のピッチは、200～300mmです。



6 本体下部の取付け

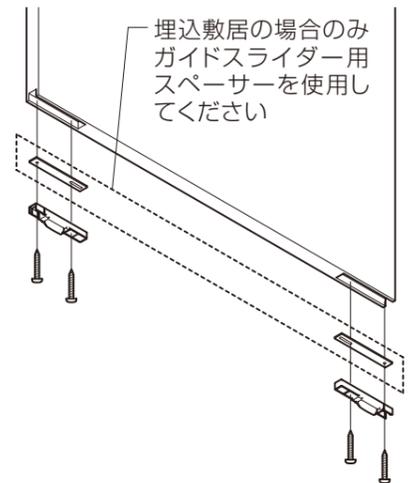
【埋込み敷居納まりの場合】

①本体のガイドスライダを一度外し、スペーサーを挟んで再度取付けてください。

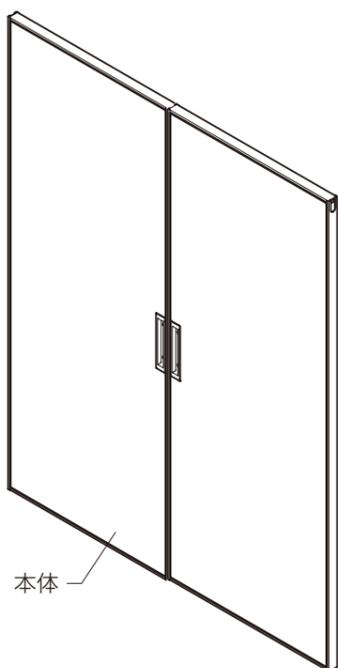
お願い

※埋込み敷居の場合、必ずガイドスライダー用スペーサーを使用してください。スペーサーを使用しないと、本体の開閉操作に支障がでる原因になります

※フラット下レールの場合、ガイドローラー用スペーサーを使用しないでください。本体の開閉操作に支障がでる原因になります。



7 本体の吊込み

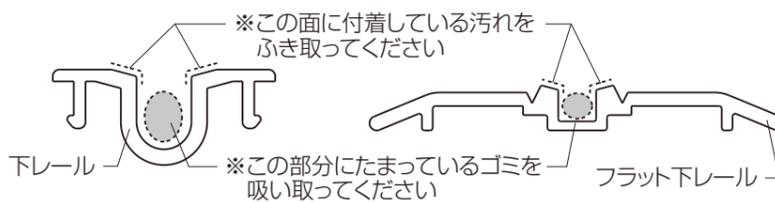


7 本体の吊込み

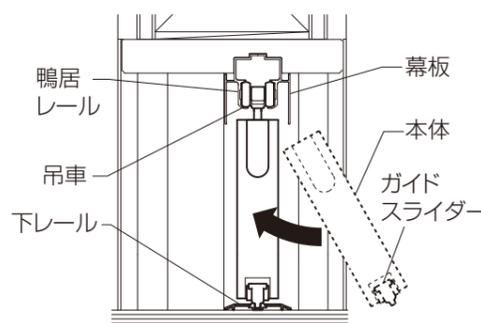
※本体の吊込み前に以下の作業を行ってください。

【埋込み敷居・フラット下レール納まりの場合】

①レールの清掃を行ってください。

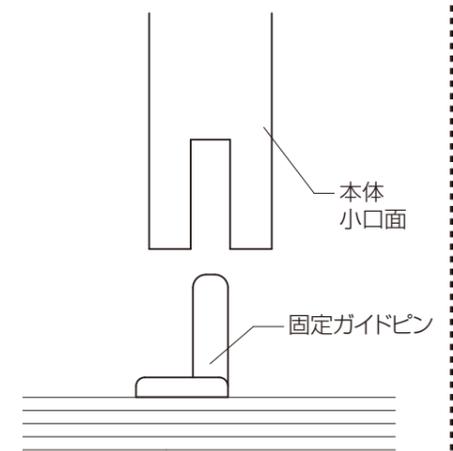


本体を上げて、本体上部を鴨居レールの幕板の内側に入れ、その後、本体下部のガイドスライダーを下レールにはめ込みます。



【固定ガイドピンの場合】

①本体を上げて、本体下部の溝にガイドピンを入れます。



①片側ずつ吊車を本体に**水平に押し込む**と、ワンタッチで取付けられます。

※吊車の凸部を本体上部溝の凹部に合わせて差込みます。

②本体と床のチリ寸法が 8(-1, +2)mm の範囲にあることを確認してください。調整が必要な場合は 12/16 ページの『■本体調整■上下調整』の手順にそって調整をしてください。

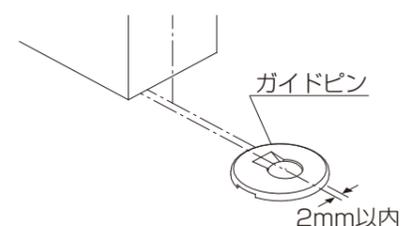
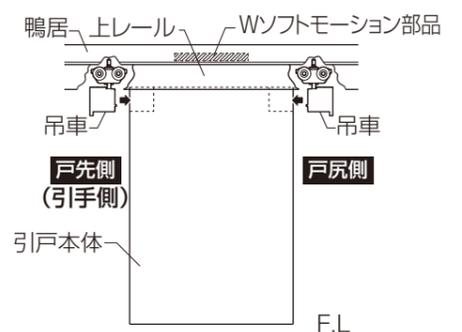
③全てのガイドピンの中心が本体の中心から 2mm 以内にある事を確認してください。調整が必要な場合は、13/16 ページの『■本体の調整■5ガイドピン位置前後調整』の手順にそって調整をしてください。

お願い

※Wソフトモーション部品と吊車が干渉しない位置で吊込みを行ってください。

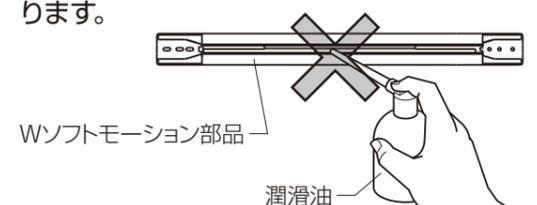
▲ 注意

●吊車の本体への取付けは、吊車が本体木口面と同一面になるまで押し込んでください。押し込み後、引張って抜けないことを確認してください。押し込みが足りないと本体が脱落するおそれがあります。



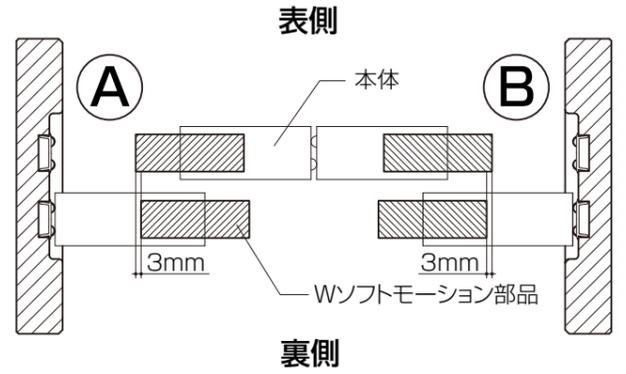
お願い

※Wソフトモーション部品に潤滑油などを塗布しないでください。作動不良の原因になります。



お願い

※引違い4枚建ては鴨居ユニットに表裏があるため、鴨居に(A)ⓐスタンプが押印してあります。鴨居の向きと本体の納まりは必ず右図のようにしてください。正しく納めないと召し合わせの位置がずれたり、Wソフトモーション機構が正しく動きません。



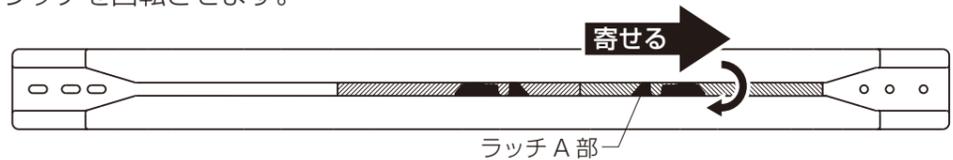
■Wソフトモーション機構の復帰方法

- 本体を吊込んでもWソフトモーション機構が作動しない場合は、Wソフトモーション部品を確認してください。Wソフトモーション部品の正常な状態は下図の通りです。下図の状態ではない場合、以下の手順で正常な状態に戻してください。

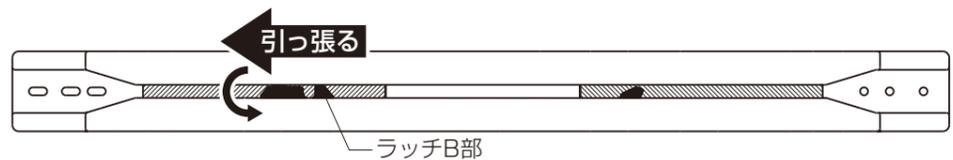
※正常な状態はスライダー1とスライダー2が離れた状態です。



- ①スライダーを片側に寄せ、寄せた側と逆側のラッチA部にドライバーなどを挿入し、片側のラッチを回転させます。



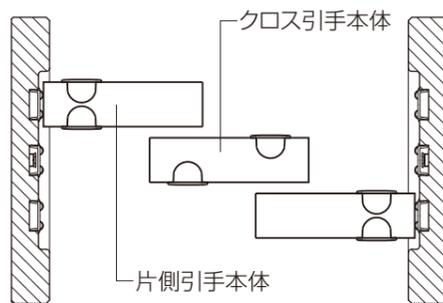
- ②回転させたラッチと逆側のラッチ（ラッチB部）にドライバーを挿入し、引っ張ります。引っ張ると端部でラッチが回転し正常な状態に戻ります。



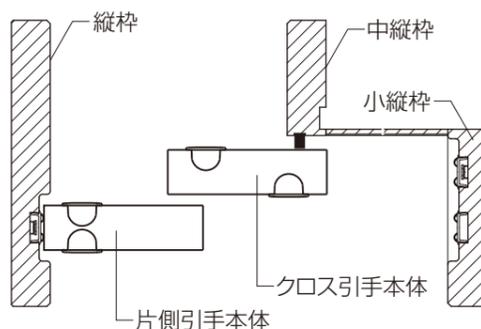
お願い

※片引戸2枚建・片引戸3枚建・引違い戸3枚建 本体には片側引手本体とクロス引手本体があります。引手方向（勝手）を確認してから吊込んでください。

■引違い戸3枚建(概略参考図)



■片引戸2枚建(概略参考図)



■片側引手本体

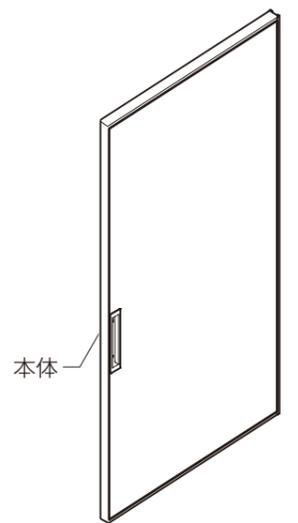


※戸先側裏表に付きます。

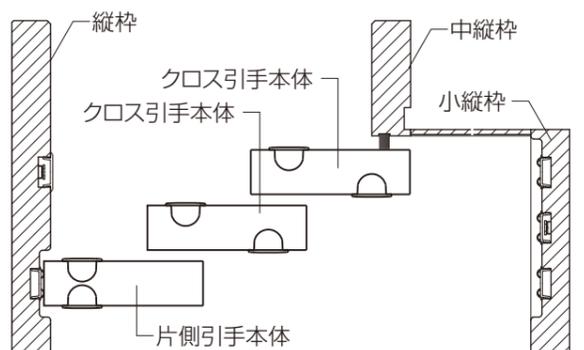
■クロス引手本体



※表裏に1つずつ交互に付きます。



■片引戸3枚建(概略参考図)



■本体の調整

1 上下調整(調整幅+4mm、-1mm)

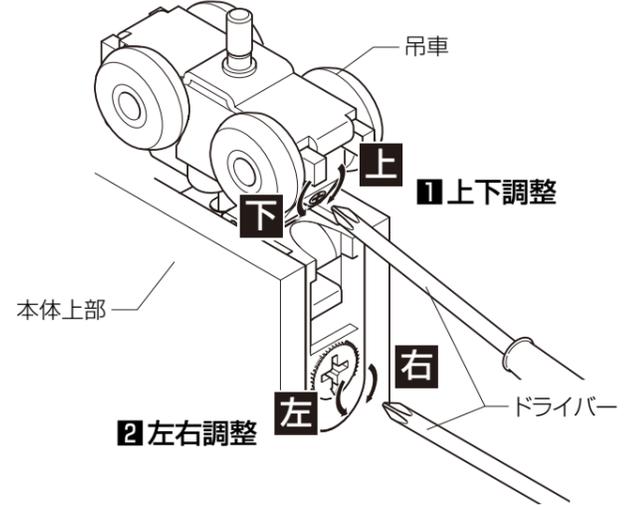
●プラスドライバーで、吊車上部の調整ねじを右に回すと本体が上がり、左に回すと本体が下がります。

※床面と本体下部とのチリ寸法は、8(-1、+2)mmが標準です。

※本体と床の隙間が範囲からはずれていると、ガイドピンがはずれたり、ガイドピンと引戸の下部がこすれる場合があります。

2 左右調整(±2mm)

●左右調整は、プラスドライバーで吊車下部の調整ねじを右に回すと本体が右へ動き、左に回すと本体が左に動きます。



3 Wソフトモーション機構 異常時の対処方法

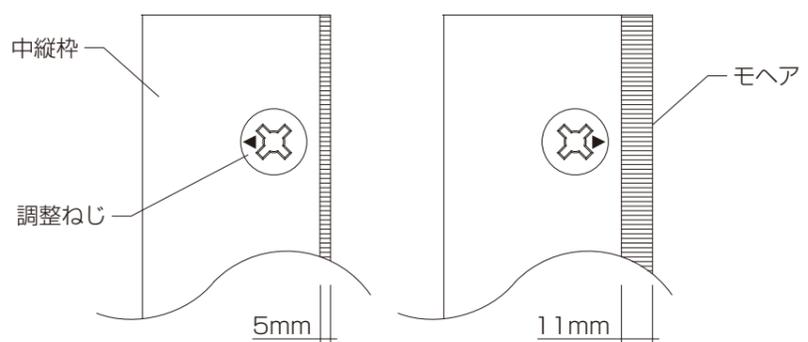
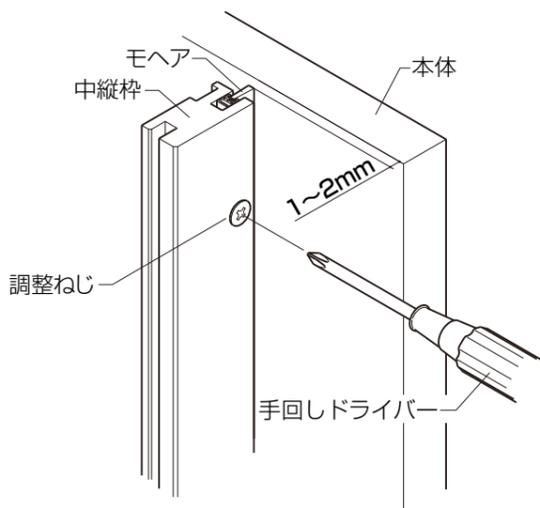
現象	チェックポイント	対処方法
<p>閉まりきらない</p> <p>すき間</p>	<p>●本体とモヘアが接触している ※片引き・引分けのみ</p>	<p>吊車の左右調整ねじで本体にモヘアが触れて開閉が重くならないように調整してください。</p> <p>■吊車の調整 左右調整ねじを左に回すと本体が右に動き、右に回すと左に動きます。(調整幅左右各2mm)</p>
	<p>●枠の取付け精度が許容範囲をオーバーしている ※「■取付け精度の許容範囲」の欄参照</p>	許容範囲内となるように再施工してください。
	<p>●Wソフトモーション部品の外観に潤滑剤が塗布された形跡がある</p>	Wソフトモーション部品の交換が必要です。
<p>ブレーキが効かない</p> <p>※ブレーキの効きには限界があります。重量の重たい本体を速く閉めるとブレーキ感を弱く感じたり、逆に重量の軽い本体・Wサイズの小さい本体を速く閉めるとブレーキ感を強く感じたりする場合があります。</p>	<p>●Wソフトモーション部品の外観に潤滑剤が塗布された形跡がある</p>	Wソフトモーション部品の交換が必要です。

4 中縦枠の調整(調整代 +6mm)

※本体とモヘアのすき間が1～2mm程度になるように調整してください。

出荷時には輸送時のモヘアの折れ曲がりを防ぐためモヘアを最も引っ込めた状態で出荷しています。

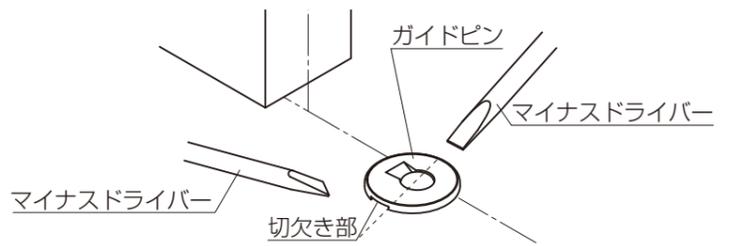
- ①中縦枠のモヘア調整ねじを手回しドライバーで回してモヘアの出寸法を調整してください。
- ②調整後、本体とモヘアの先端が1～2mmのすき間が確保されているか確認してください。



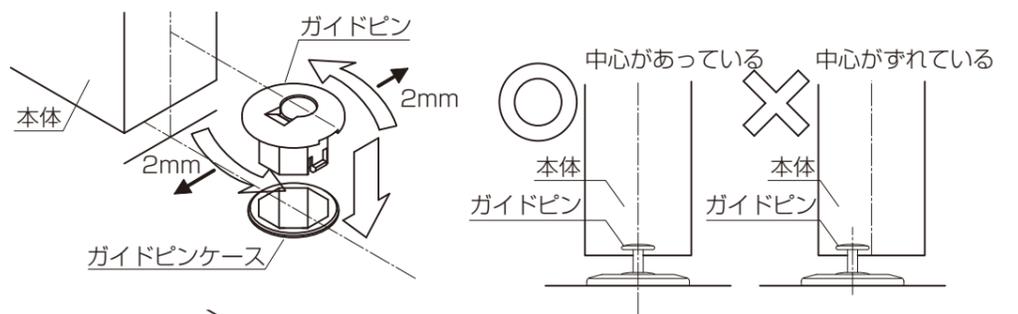
調整ねじの▲マークがモヘア側に向いている時がモヘアが最も出ている状態で、逆に向いている時が最も引っ込んでいる状態です。

5 ガイドピン位置前後調整 (調整幅4mm)

- 固定ガイドピンを切り欠き部 (2箇所) にマイナスドライバーを同時に差し込んで外してください。
- ※切り欠き部1箇所だけで外すと、製品が変形する恐れがあります。
- ※床にキズがつかないようにマイナスドライバーの下にあて布をして外してください。



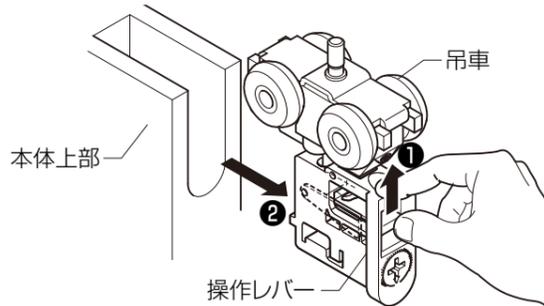
- 本体が静止していることを確認し、本体の中心線上にガイドピンの先端がくるようにガイドピンをまわして位置をあわせてください。
- ※中心のズレは2mm以下に調整してください。
- ※中心がずれていると、可動間仕切り開閉時にガイドピンが外れてしまう場合があります。
- ※ガイドピンケース内部、ガイドピン本体にゴミなどが入り込んでいる場合はきれいに取り除いてください。



- 位置があったらガイドピンをガイドピンケースへ最後まで押し込んでください。

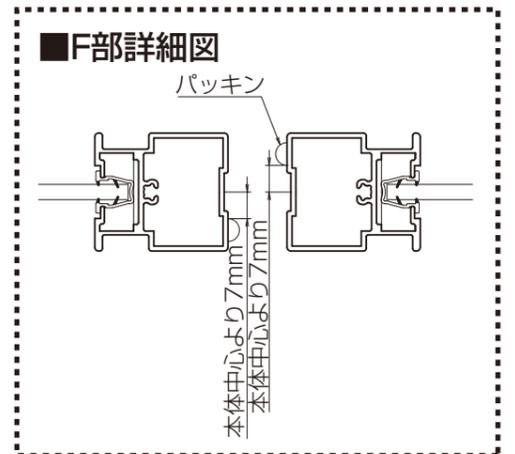
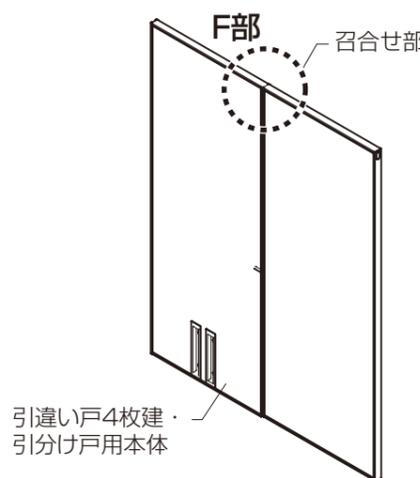
6 本体の取外し方法

- 本体を手で支えてから吊車の操作レバーを指でつまみ、上に押し上げます。
- 次に吊車を本体の内部ケースより引抜き、取外します。



■ 召合せパッキンの取付け

- 本体の吊込み・建付け調整を行った後、引違い戸4枚建・引分け戸用本体の召合せ部に、枠に同梱のパッキンを取付けます。
- ※アルミ建具用(グレー)2本、木建具用(枠同色)2本が同梱されています。本体の仕様に合わせて貼り付けてください。
- パッキン裏面のシートをはがし、5kg程度の力で押しつけて張付けます。パッキンは、長めのものを同梱していますので、現場でカットしてください。

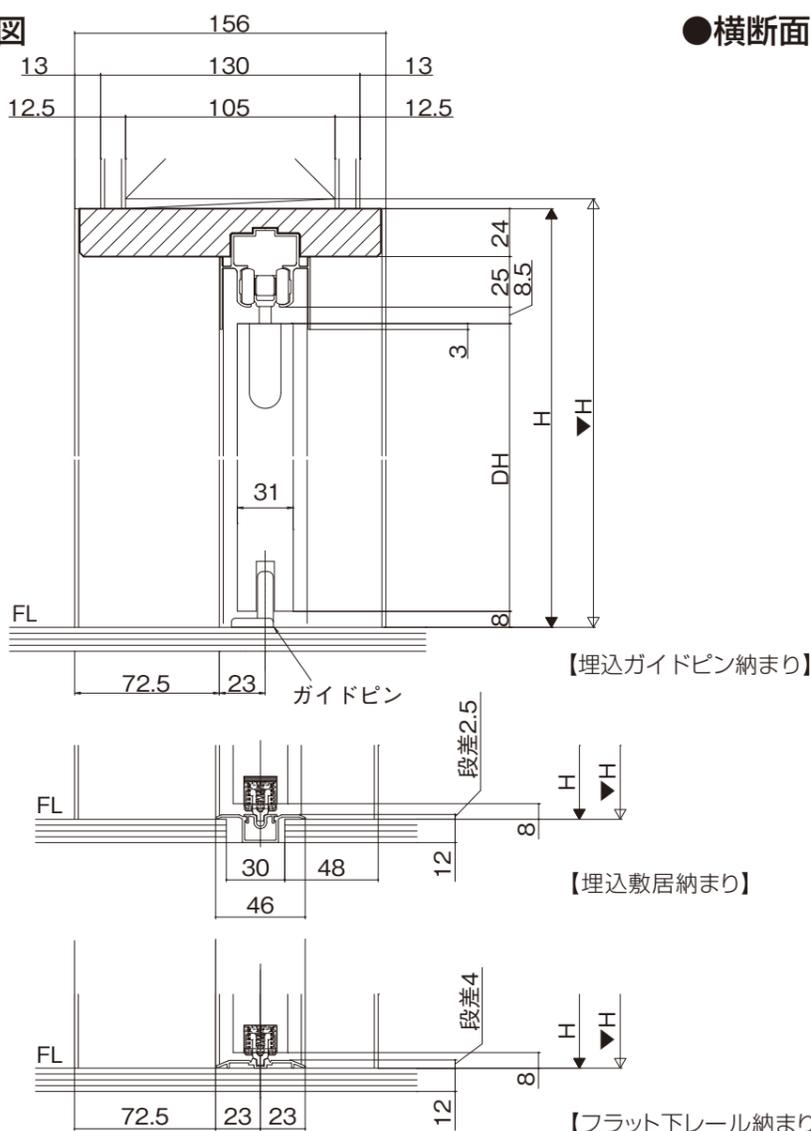


- お願い●
- ※パッキンは、必ず本体を吊込んで、建付け調整を行ってから張付けてください。
 - ※パッキンは、張付け面のホコリ・汚れ・油分などを取除いてから張付けてください。

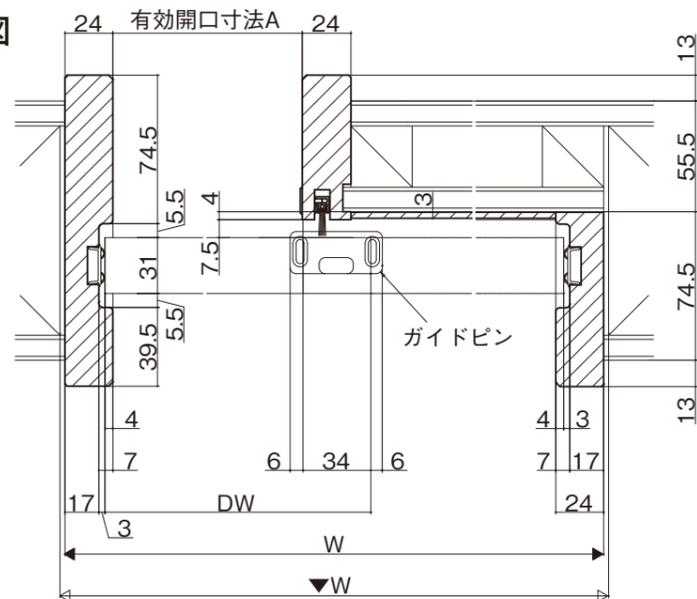
■ 参考納まり図

■ 可動間仕切り引戸上吊方式 片引戸ユニット ノンケーシング

● 縦断面図



● 横断面図



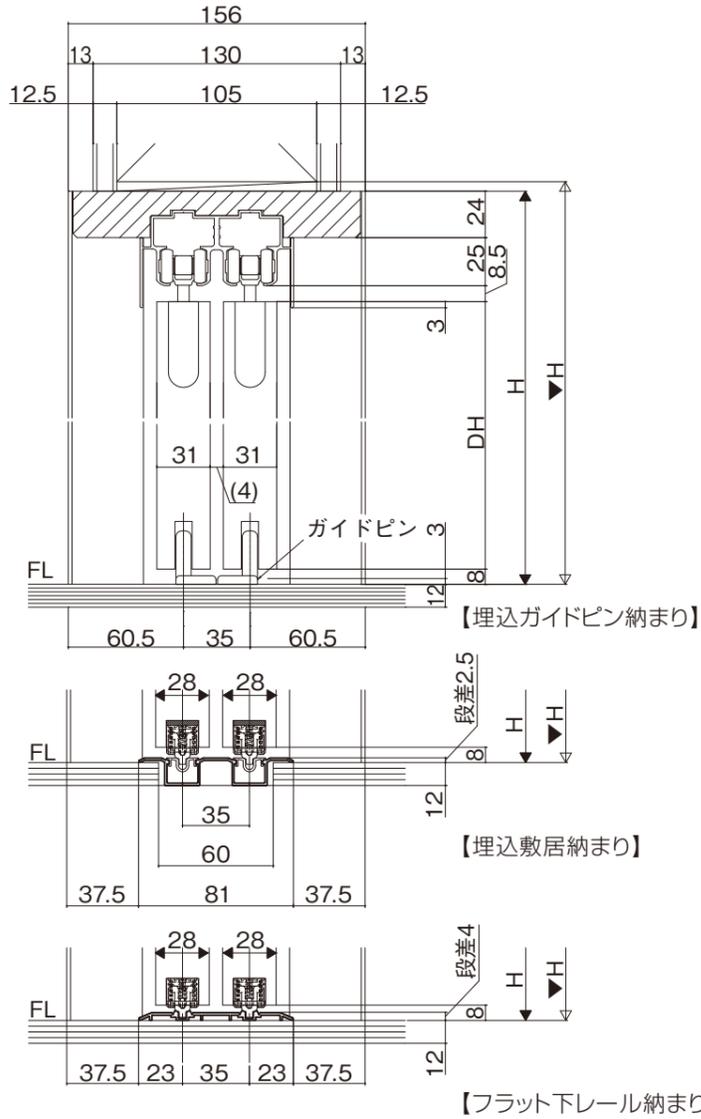
※表は規格サイズ本体 (DW819) を使用した場合の寸法です。DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

基本寸法 (mm)	W呼称	W16	
	W	1644	
	H呼称	H20	H23
	H	2023	2306

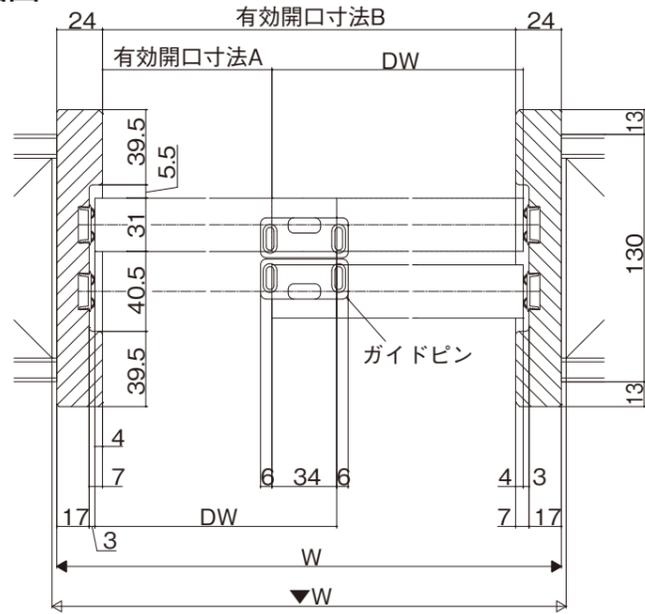
W呼称(枠外寸法)	A寸法
W16(1644)	781

■可動間仕切り引戸上吊方式 引違い戸2枚建ユニット ノンケーシング

●縦断面図



●横断面図



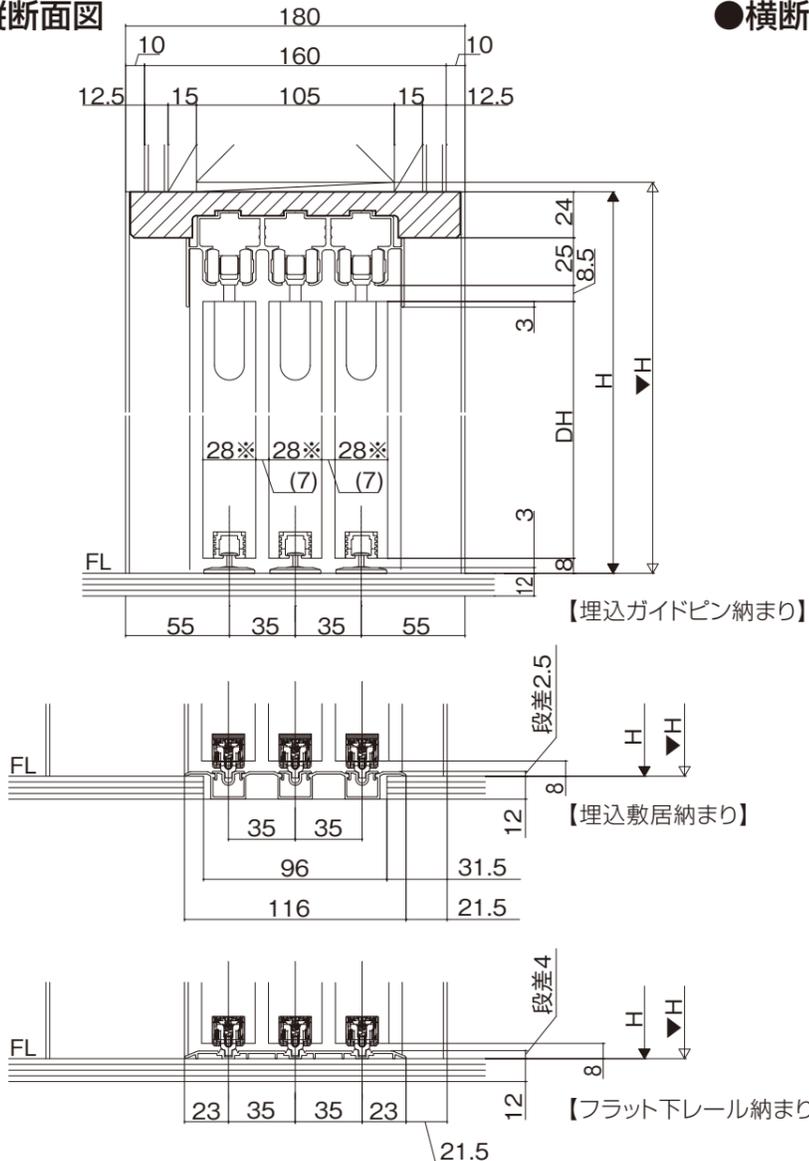
※表は規格サイズ本体 (DW819) を使用した場合の寸法です。DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

基本寸法 (mm)	W呼称	W16	
	W	1644	
	H呼称	H20	H23
	H	2023	2306

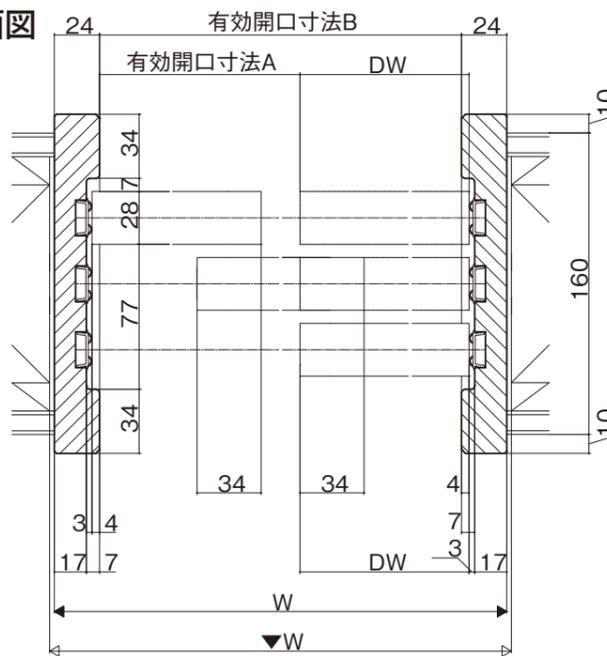
W呼称(枠外寸法)	DW	A寸法	B寸法
W16(1644)	819	781	1596

■可動間仕切り引戸上吊方式 引違い戸3枚建ユニット ノンケーシング

●縦断面図



●横断面図



基本寸法 (mm)	W呼称	W24
	W	2429
	H呼称	H23
	H	2306

W呼称(枠外寸法)	DW	A寸法	B寸法	C寸法	D寸法
W24(2429)	819	1566	2381	715	330.5

※ CA4、CA6 の戸厚は 31 mm になります。
 ※表は規格サイズ本体 (DW819) を使用した場合の寸法です。DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

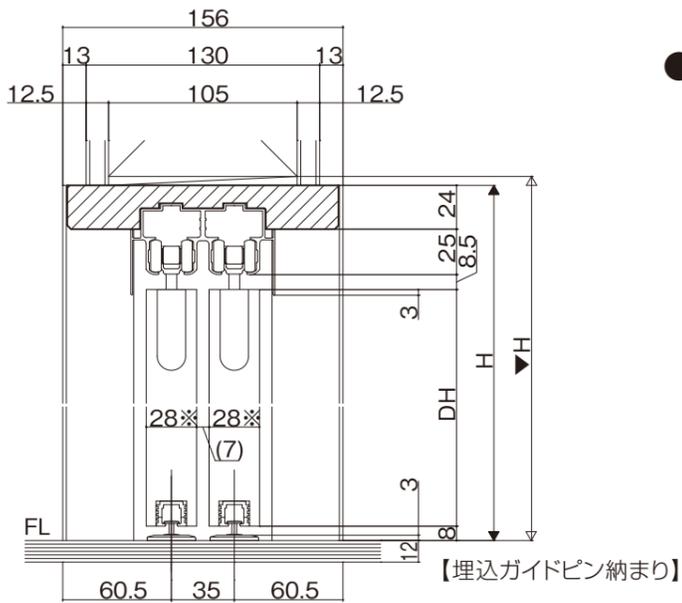
●埋め込みガイドピン配置図



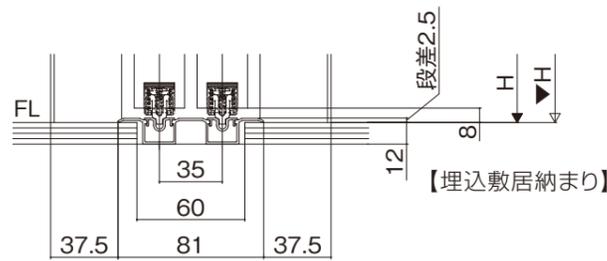
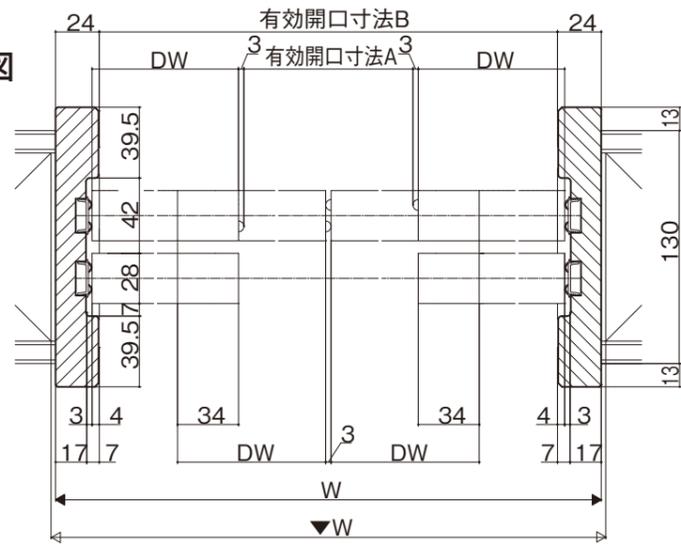
$C = DW - 104$
 $D = (DW - 158) \div 2$

■可動間仕切り引戸上吊方式 引違い戸4枚建ユニット ノンケーシング

●縦断面図



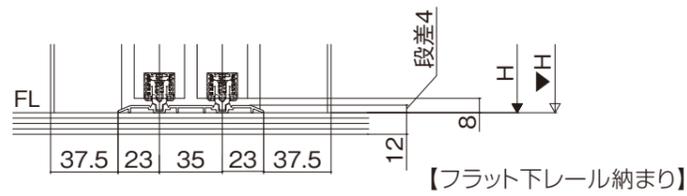
●横断面図



※ CA4、CA6 の戸厚は 31 mm になります。
 ※表は規格サイズ本体 (DW819) を使用した場合の寸法です。
 DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

基本寸法 (mm)	W呼称	W32
	W	3251
	H呼称	H23
H	2306	

W呼称(枠外寸法)	DW	A寸法	B寸法	C寸法	D寸法
W32(3251)	819	1567	3203	715	3305

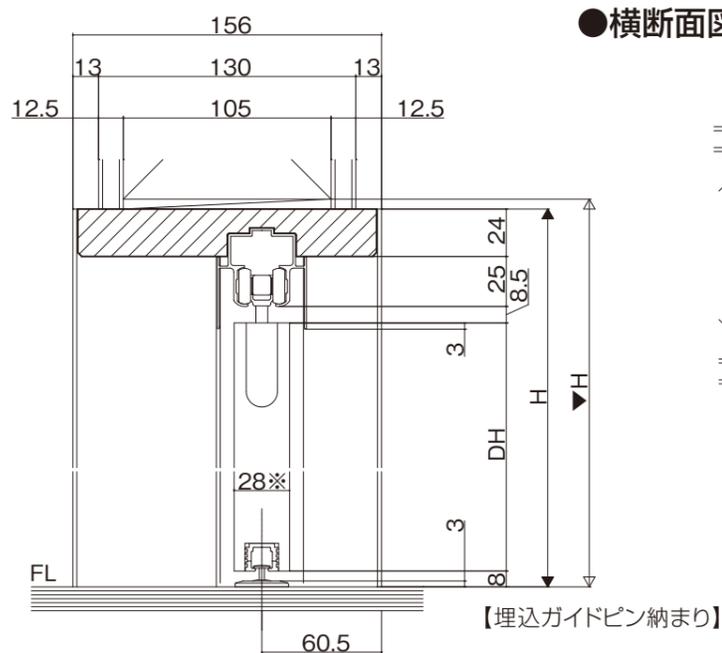


●埋め込みガイドピン配置図

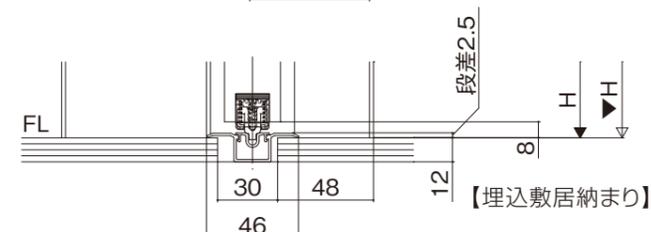
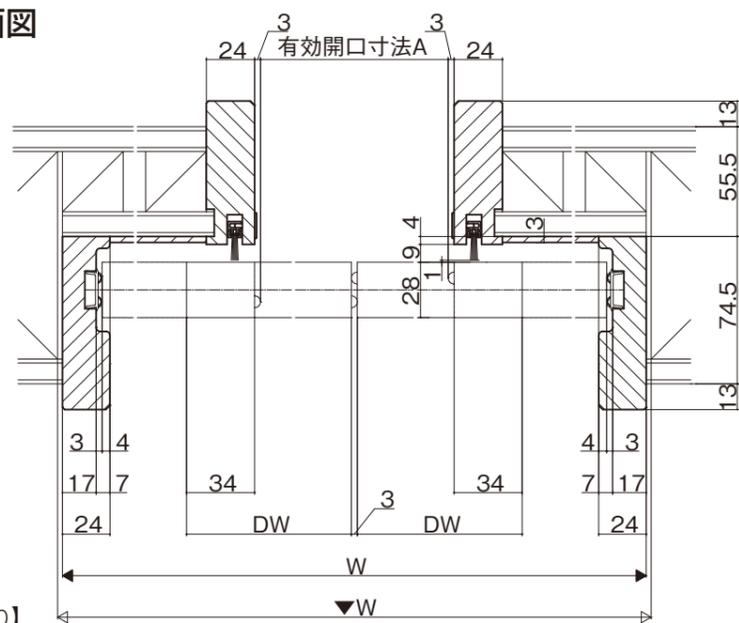


■可動間仕切り引戸上吊方式 引分け戸ユニット ノンケーシング

●縦断面図



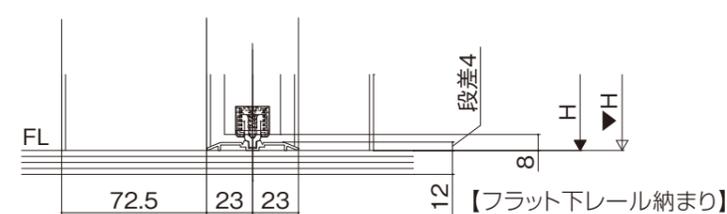
●横断面図



※ CA4、CA6 の戸厚は 31 mm になります。
 ※表は規格サイズ本体 (DW819) を使用した場合の寸法です。DW が規格サイズ以外の場合は配置図の算出式に基づき位置出しを行ってください。

基本寸法 (mm)	W呼称	W32
	W	3251
	H呼称	H23
H	2306	

W呼称(枠外寸法)	DW	A寸法	B寸法	C寸法
W32(3251)	819	1567	715	3305



●埋め込みガイドピン配置図

